

平成 29 年 度

事業概要

人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田県支部

日本赤十字社ミッションステートメント

(Mission statement)

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

1. 役員等

(平成30年 3 月31日現在)

1. 支部役員・本社理事並びに代議員

役 職 名	氏 名
支 部 長	佐 竹 敬 久
副 支 部 長	堀 井 啓 一
	穂 積 志
監 査 委 員	新 谷 明 弘
	斉 藤 永 吉
理 事 ・ 代 議 員	佐々木 義 広
代 議 員	野 口 良 孝
	三 戸 俊 彦
	江 畑 佳 明

2. 評議員

地 区 別	氏 名
鹿 角 市	石 井 勲
大 館 市	日 景 隆
	櫻 田 玲 子
北 秋 田 市	津 谷 永 光
能 代 市	齊 藤 滋 宣
男 鹿 市	菅 原 広 二
潟 上 市	藤 原 一 成
秋 田 市	野 口 良 孝
	細 谷 敏 夫
	黒 崎 義 雄
	真 坂 芳 明
	渡 邊 達 夫
由 利 本 荘 市	長谷部 誠
	佐々木 保 之
に か ほ 市	佐 藤 耕 一
大 仙 市	久 米 正 雄
	逸 見 博 幸
仙 北 市	武 藤 次 雄
横 手 市	高 橋 大
	佐々木 義 広
湯 沢 市	鈴 木 俊 夫
北	細 越 満
山 本	佐々木 文 明
中 央	畠 山 菊 夫
南	松 田 知 己
支 部 長 選 出	眞井田 恭 雄
	小 玉 喜久子
	三 戸 俊 彦
	江 畑 佳 明

3. 赤十字奉仕団秋田県支部委員会委員

(平成30年 3 月31日現在)

役職名	氏 名	所属奉仕団	選 出 区 分
委 員 長	小 玉 喜久子	潟上市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
副委員長	中 嶋 洋 子	北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	
	高 橋 知 子	秋田市赤十字奉仕団	
	高 橋 トモ子	大仙市中仙赤十字奉仕団	
	八 代 千 春	秋田県赤十字災害救護奉仕団	特殊奉仕団委員長
委 員	小 栗 將 子	能代市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
	小棚木 美和子	横手市赤十字奉仕団	
	櫻 田 玲 子	大館市赤十字奉仕団	
	三 森 ハ マ	由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	
	吉 田 萬里子	男鹿市赤十字奉仕団	
	北 村 ルミ子	湯沢市赤十字奉仕団	
	佐 藤 志保子	鹿角市赤十字奉仕団	
	村 上 和 美	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	
	門 脇 トキヨ	仙北市西木町赤十字奉仕団	
	宮 崎 幸 子	小坂町赤十字奉仕団	
	淡 路 高 江	藤里町赤十字奉仕団	
	工 藤 佳	五城目町赤十字奉仕団	
	森 元 博 美	美郷町赤十字奉仕団	
	三 浦 泰 輔	秋田県青年赤十字奉仕団	県青年奉仕団連絡協議会長
	鈴 木 敦 子	秋田県点訳赤十字奉仕団	特殊奉仕団委員長
	小 野 敏実都	秋田県赤十字芸能奉仕団	
	石 川 和 男	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	
	畠 山 邦 男	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	
	田 口 昇	秋田県赤十字救急法奉仕団	
	眞井田 恭 雄	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	

2. 評議員会・監査等

1. 評議員会

評議員会を次のとおり開催した。

(1) 第1回目

期 日 6月2日

会 場 秋田県社会福祉会館

出席評議員 14名

報告事項

- ・平成28年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算

審 議

- ・議案第1号 平成28年度一般会計歳入歳出決算
- ・議案第2号 平成28年度医療施設特別会計歳入歳出決算
- ・議案第3号 平成28年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算

監査報告

※議案第1号から議案第3号まで原案どおり承認された。

その他の事項

- ・献血運動推進全国大会について
- ・支部創立130周年記念秋田県赤十字大会について

(2) 第2回目（文書審議）

7月21日、次の案件について審議が行われ、監査委員に斉藤永吉氏並びに新谷明弘氏が選出された。

- ・議案第1号 役員（監査委員）の選出について

(3) 第3回目

期 日 3月13日

会 場 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」

出席評議員 19名

審 議

- ・議案第1号 日本赤十字社代議員の選出
- ・議案第2号 平成29年度一般会計歳入歳出補正予算
- ・議案第3号 平成29年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・議案第4号 平成29年度社会福祉施設特別会計歳入歳出補正予算

- ・議案第 5 号 平成30年度事業計画
- ・議案第 6 号 平成30年度一般会計歳入歳出予算
- ・議案第 7 号 平成30年度医療施設特別会計歳入歳出予算
- ・議案第 8 号 平成30年度社会福祉施設特別会計歳入歳出予算

※議案第 1 号、日本赤十字社代議員の選出については、江畑佳明氏が選出された。

※議案第 2 号から議案第 8 号までは原案どおり承認された。

2. 監査等

(1) 支部監査

監査対象施設	期 日	場 所	監 査 者
支 部	5 月23日	支 部 研 修 室	支部監査委員
乳 児 院			
血 液 セ ン タ ー			
病 院	5 月24日	病院福利厚生棟会議室	

(2) 会計調査

調査対象施設	期 日	場 所	調 査 者
支 部	9 月 8 日	支 部 研 修 室	税理士（2人）
乳 児 院		乳 児 院 会 議 室	
病 院	9 月12日	病院福利厚生棟会議室	

3. 地区・分区関係

1. 地区・分区の概況

(平成30年3月31日現在)

地区・分区名	地区・分区長名	行政職名等	市町村における赤十字担当課等	
			名 称	電話番号
秋 田 市	穂 積 志	市 長	福祉総務課	018-866-2090
能 代 市	齊 藤 滋 宣	市 長	社会福祉協議会	0185-52-3335
横 手 市	高 橋 大	市 長	市民福祉課	0182-35-2132
大 館 市	福 原 淳 嗣	市 長	福祉課	0186-42-8100
男 鹿 市	菅 原 広 二	市 長	社会福祉協議会	0185-23-2772
湯 沢 市	鈴 木 俊 夫	市 長	福祉課	0183-73-2111
鹿 角 市	児 玉 一	市 長	社会福祉協議会	0186-23-2165
由利本荘市	長谷部 誠	市 長	福祉支援課	0184-24-6315
潟 上 市	藤 原 一 成	市 長	社会福祉課	018-853-5314
大 仙 市	老 松 博 行	市 長	社会福祉課	0187-63-1111
北 秋 田 市	津 谷 永 光	市 長	福祉課	0186-62-6637
に か ほ 市	横 山 忠 長	市 長	社会福祉協議会	0184-32-3010
仙 北 市	門 脇 光 浩	市 長	社会福祉協議会	0187-52-1624
小 坂 町	細 越 満	町 長	町民課	0186-29-3925
上小阿仁村	小 林 悦 次	村 長	社会福祉協議会	0186-77-3057
藤 里 町	佐々木 文 明	町 長	社会福祉協議会	0185-79-2848
三 種 町	三 浦 正 隆	町 長	福祉課	0185-85-2190
八 峰 町	加 藤 和 夫	町 長	福祉保健課	0185-76-4608
五 城 目 町	渡 邊 彦兵衛	町 長	社会福祉協議会	018-852-5192
八 郎 潟 町	畠 山 菊 夫	町 長	社会福祉協議会	018-875-3871
井 川 町	斎 藤 多 聞	町 長	社会福祉協議会	018-874-2611
大 潟 村	高 橋 浩 人	村 長	社会福祉協議会	0185-45-2840
美 郷 町	松 田 知 己	町 長	福祉保健課	0187-84-4907
羽 後 町	安 藤 豊	町 長	社会福祉協議会	0183-62-5313
東 成 瀬 村	佐々木 哲 男	村 長	社会福祉協議会	0182-47-2700
北	藤 田 和 彦	北福祉事務所長	企画福祉課	0186-52-3955
山 本	長 岐 武 彦	山本福祉事務所長	企画福祉課	0185-55-8023
中 央	武 藤 順 洋	中央福祉事務所長	企画福祉課	018-855-5171
南	村 越 勇	南福祉事務所長	企画福祉課	0182-32-3294

2. 地区・分区関係会議等

(1) 事務担当者会議

期 日 4月12日
 会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室
 出席者数 48人
 議 題 等 ・DVD「赤十字この1年」
 ・平成28年度秋田県支部事業概要
 ・平成29年度事業計画

(2) 新任事務担当者研修会

期 日 7月26日
 会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
 出席者数 11人
 研修内容 ・DVD「日本赤十字社法制定50年の歩み」
 ・講話「赤十字について」
 ・赤十字講習研修
 ・実務研修

(3) 所管課長会議

期 日 12月6日
 会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
 出席者数 13人
 議 題 等 ・平成29年度秋田県支部概況
 ・平成30年度事業計画概要

(4) 地区・分区主催会議、研修会等への出席

主 催	期 日	会 議 名 等	会 場	出席者数	備 考
秋 田 市	4月11日	日赤秋田市地区 評議員会	秋田市役所 正庁	12人	・赤十字増強運動について
	4月19日	日赤秋田市地区 協議会	協働大町ビル	79人	・赤十字増強運動について ・秋田県支部の活動状況について
	10月20日 ～21日	日赤秋田市地区 役員研修	日赤岩手県支部	6人	・岩手県支部の活動状況について
	2月13日	日赤秋田市地区 分区長研修会	秋田県社会福祉会館	30人	・赤十字事業について
大 仙 市	4月26日	日赤大仙市地区 赤十字増強運動 説明会	大仙市役所 大会議室	49人	・秋田県支部の活動状況について ・赤十字増強運動について ・社員制度の見直しについて
仙 北 市	4月24日	日赤仙北市地区 角館分区赤十字 増強運動説明会	角館交流センター	21人	・秋田県支部の活動状況について ・赤十字増強運動について

3.全国赤十字大会参会・本社研修等

(1) 本社研修

期 日 5月24日
会 場 日本赤十字社 会議室
出席者数 13人
研修内容 ・講話
・本社見学

(2) 全国赤十字大会

大会名称 平成29年 全国赤十字大会
期 日 5月25日
会 場 東京都渋谷区「明治神宮会館」
参 会 者 24人
本社理事 1人
地区・分区担当者 13人
秋田県赤十字有功会 3人
施設職員 3人 支部職員 4人
大会内容 プロローグ 「赤十字この1年」上映
式 典 名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご臨場
「国歌」斉唱
社長あいさつ
有功章ご授与
社長表彰
厚生労働大臣祝辞
実践活動の報告
「あこがれの赤十字」合唱
名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご退場
アトラクション 谷村新司コンサート

4.支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」

期 日 11月7日
会 場 秋田県民会館
参 会 者 約1,400人
大会概要 第1部 式典
名誉副総裁秋篠宮妃殿下ご臨場
「国家」斉唱
式辞 日本赤十字社秋田県支部長 佐竹 敬久

名誉副総裁おことば

有功章ご授与（代表 30人）

感謝状の贈呈

社長感謝状（代表 8人）

支部長感謝状（代表 5人）

副社長挨拶

来賓祝辞 秋田県議会議長 鶴田 有司

秋田市長 穂積 志

体験発表 「活動する喜びを知って」

大仙市中仙赤十字奉仕団 高橋 トモ子

「子どもたちの笑顔のために」

秋田赤十字乳児院 京極 芳久

「あこがれの赤十字」合唱

名誉副総裁秋篠宮妃殿下ご退場

第2部 講演

演題 「博物館で楽しむ日本の文化」

講師 東京国立博物館館長 銭谷 眞美 氏

5. 名誉副総裁秋篠宮妃殿下御歓迎昼食会

期 日 11月7日

会 場 秋田キャッスルホテル「放光の間」

参 会 者 155人

4. 活動資金の収納状況

1. 一般活動資金

(1) 会員数（協力会員を含む）及び活動資金額前年度実績比較

区 分		会 員 数			活 動 資 金 額		
		28年度実績 人	29年度実績 人	増 減 人	28年度実績 円	29年度実績 円	増 減 円
1	秋 田 市	20,140	19,541	△ 599	25,676,028	25,277,819	△ 398,209
2	能 代 市	7,179	6,899	△ 280	6,862,950	6,586,000	△ 276,950
3	横 手 市	15,602	15,694	92	13,882,267	13,661,195	△ 221,072
4	大 館 市	10,219	9,844	△ 375	8,019,825	7,768,125	△ 251,700
5	男 鹿 市	8,979	8,955	△ 24	6,487,000	6,427,650	△ 59,350
6	湯 沢 市	13,310	13,370	60	6,693,443	6,756,515	63,072
7	鹿 角 市	8,732	8,576	△ 156	4,740,200	4,635,500	△ 104,700
8	由利本荘市	19,949	19,825	△ 124	14,458,850	14,280,100	△ 178,750
9	潟 上 市	4,987	4,801	△ 186	4,387,600	4,289,850	△ 97,750
10	大 仙 市	19,660	19,357	△ 303	15,107,100	15,436,530	△ 329,430
11	北 秋 田 市	8,640	8,482	△ 158	6,884,960	6,748,400	△ 136,560
12	にかほ市	7,538	7,376	△ 162	5,358,750	5,264,338	△ 94,412
13	仙 北 市	7,195	7,068	△ 127	5,702,514	5,542,352	△ 160,162
14	小 坂 町	1,782	1,816	34	1,221,300	1,258,500	37,200
15	上小阿仁村	733	712	△ 21	606,900	584,200	△ 22,700
16	藤 里 町	1,119	1,108	△ 11	833,000	822,100	△ 10,900
17	三 種 町	4,787	4,703	△ 84	4,110,355	3,977,410	△ 132,945
18	八 峰 町	2,545	2,520	△ 25	1,787,000	1,769,000	△ 18,000
19	五 城 目 町	3,130	2,989	△ 141	2,518,700	2,428,302	△ 90,398
20	八 郎 潟 町	1,884	1,892	8	1,452,300	1,457,000	4,700
21	井 川 町	1,327	1,331	4	962,000	952,000	△ 10,000
22	大 潟 村	800	807	7	585,215	585,400	185
23	美 郷 町	4,978	4,944	△ 34	4,922,900	4,874,600	△ 48,300
24	羽 後 町	4,126	4,149	23	2,781,200	2,822,450	41,250
25	東成瀬村	752	743	△ 9	732,840	731,700	△ 1,140
	計	180,093	177,502	△2,591	146,775,197	144,937,036	△ 1,838,161
	支 部 扱	911	1,029	118	3,731,831	9,233,163	5,501,332
総 計		181,004	178,531	△ 2,473	150,507,028	154,170,199	3,663,171

(2) 会員数（協力会員含む）及び活動資金額実績

区 分		会 員 数 等			寄付 件数 件	活 動 資 金 額					
		目標会員数(A) 人	29年度実績(B) 人	千円以上 会員実績(C) 人		C／B %	目標額(D) 円	会 費(E) 円	寄付金(F) 円	活動資金実績 (E＋F) 円	平均会費額 (E／B) 円
1	秋 田 市	18,032	19,541	4,559	12,743	23.3%	26,551,000	15,461,894	9,815,925	25,277,819	791
2	能 代 市	7,650	6,899	219	333	3.2%	7,162,600	3,932,900	2,653,100	6,586,000	570
3	横 手 市	17,158	15,694	609	296	3.9%	14,298,100	10,955,430	2,705,765	13,661,195	698
4	大 館 市	10,751	9,844	1,039	103	10.6%	8,878,700	5,961,700	1,806,425	7,768,125	606
5	男 鹿 市	9,053	8,955	1,147	1	12.8%	6,627,800	6,427,600	50	6,427,650	718
6	湯 沢 市	13,897	13,370	26	27	0.2%	7,014,600	6,748,415	8,100	6,756,515	505
7	鹿 角 市	8,923	8,576	529	20	6.2%	4,868,000	4,630,700	4,800	4,635,500	540
8	由利本荘市	18,853	19,825	1,841	38	9.3%	14,731,800	14,258,300	21,800	14,280,100	719
9	潟 上 市	5,178	4,801	126	349	2.6%	4,432,800	2,650,700	1,639,150	4,289,850	552
10	大 仙 市	20,231	19,357	6,808	379	35.2%	15,440,000	15,317,900	118,630	15,436,530	791
11	北秋田市	8,892	8,482	3,266	75	38.5%	7,022,700	6,727,400	21,000	6,748,400	793
12	にかほ市	7,545	7,376	28	156	0.4%	5,388,500	5,157,188	107,150	5,264,338	699
13	仙 北 市	7,321	7,068	3,064	6	43.4%	5,785,400	5,506,300	36,052	5,542,352	779
14	小 坂 町	1,883	1,816	76	121	4.2%	1,306,900	1,216,100	42,400	1,258,500	670
15	上小阿仁村	752	712	291	1	40.9%	620,500	583,900	300	584,200	820
16	藤 里 町	1,145	1,108	128	0	11.6%	860,500	822,100	0	822,100	742
17	三 種 町	4,932	4,703	2,410	13	51.2%	4,254,300	3,973,800	3,610	3,977,410	845
18	八 峰 町	2,586	2,520	12	1	0.5%	1,815,200	1,768,800	200	1,769,000	702
19	五城目町	3,196	2,989	10	92	0.3%	2,571,200	2,392,900	35,402	2,428,302	801
20	八郎潟町	1,897	1,892	102	0	5.4%	1,452,000	1,457,000	0	1,457,000	770
21	井 川 町	1,416	1,331	213	0	16.0%	1,051,300	952,000	0	952,000	715
22	大 潟 村	802	807	45	0	5.6%	639,200	585,400	0	585,400	725
23	美 郷 町	5,059	4,944	4,770	16	96.5%	4,985,400	4,871,600	3,000	4,874,600	985
24	羽 後 町	4,100	4,149	2	0	0.0%	2,863,700	2,822,450	0	2,822,450	680
25	東成瀬村	765	743	562	1	75.6%	744,100	731,250	450	731,700	984
	計	182,017	177,502	31,882	14,832	18.0%	151,366,300	125,913,727	19,023,309	144,937,036	709
	支 部 扱	0	1,029	733	62	71.2%	0	5,349,650	3,883,513	9,233,163	5,199
総	計	182,017	178,531	32,615	14,894	18.3%	151,366,300	131,263,377	22,906,822	154,170,199	735

2. 過去5年間の活動資金並びに会員数（協力会員含む）の推移

(1) 一般活動資金(個人指定寄付金含む)

年 度 別	収 納 実 績 円	収 納 実 績 円	会 員 数 人	前 年 度 比 %
25	158,639,119	95.7	193,050	97.6
26	155,481,974	98.0	190,007	98.4
27	158,353,216	101.8	181,085	95.3
28	150,507,028	95.0	181,004	100.0
29	154,170,199	107.3	178,531	98.6

(2) 法人活動資金（指定寄付金含む）

年 度 別	収 納 実 績 円	前 年 度 比 %	法 人 数 社	前 年 度 比 %
25	10,141,052	103.0	512	104.7
26	10,174,704	100.3	539	105.3
27	11,713,635	115.1	536	99.4
28	15,664,698	133.7	628	117.2
29	19,925,047	127.2	610	97.1

5. 国 際 活 動

1. 日赤第1ブロック共同開発協力支援事業の実施状況

人道ニーズへの支援として、自然災害や交通事故が多発している3カ国に対し、「救急法普及支援事業」を日赤第1ブロック（北海道・東北）合同の国際活動として次のとおり資金援助を実施した。

- | | | |
|-----------------------------|-----------|------------|
| (1) カンボジア | 救急法普及支援事業 | 235,000円 |
| (※日赤第1ブロック全体で1,534,000円を支援) | | |
| (2) ミャンマー | 救急法普及支援事業 | 235,000円 |
| (※日赤第1ブロック全体で1,534,000円を支援) | | |
| (3) 東ティモール | 救急法普及支援事業 | 235,000円 |
| (※日赤第1ブロック全体で1,534,000円を支援) | | |
| | | 計 717,000円 |
| (※日赤第1ブロック全体で4,602,000円を支援) | | |

2. バングラデシュ南部避難民救援事業の実施状況

国際赤十字が行う緊急救援として、日本赤十字社から要請のあったバングラデシュ南部避難民救援事業に次のとおり要員を派遣した。

派遣期間 11月24日～1月11日

派遣場所 バングラデシュ人民共和国

派遣要員 病院 事務部企画調査課 主事 足嶋 かおり

3. 「NHK海外たすけあいキャンペーン」の実施状況

12月1日～25日のキャンペーン期間中、銀行等で受付を行ったほか、NHK秋田放送局ロビーに受付窓口を設け救援金を募集した。

また、全県一斉街頭募金を行い、全県各地で奉仕団員が募金活動を呼びかけた。

「全県一斉街頭募金」

参加奉仕団数 26団（青少年赤十字加盟校高校生を含む）

街頭募金額実績 542,516円

6. 災害救護事業等

1. 災害救護活動

(1) 7月22日発生秋田県大雨災害救護活動の実施状況

ア. 災害の概要

- ・発生年月日 平成29年7月22日

停滞した前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、前線の活動が活発となり、秋田県では多いところで300ミリを超える大雨となった。

- ・被災地 大仙市…災害救助法適用

秋田市、由利本荘市、仙北市、横手市、美郷町…床上浸水があった市町

イ. 被害状況

区 分	住 家 被 害 (棟)				
	全 壊	半 壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
秋田県計	3	44	1	610	1,566

区 分	避 難 指 示		避 難 勧 告	
	世 帯	人 数	世 帯	人 数
秋田県計	9,377	24,896	27,303	66,527

ウ. 秋田県支部の対応

- ・救援物資配付及び災害見舞金交付状況

区 分	救 援 物 資		見 舞 金 円
	毛 布 枚	緊急セット 個	
秋 田 市			3,000,000
横 手 市			3,320,000
由 利 本 荘 市	26	17	360,000
仙 北 市			340,000
美 郷 町			20,000
計	26	17	7,040,000

・防災ボランティア活動

奉仕団・ボランティア名	活動 人数	活 動 状 況		
		月 日	場 所	活 動 内 容
防災ボランティア リーダー 登録防災ボランティア	1	7月22日	日赤支部	情報収集、業務支援
	4	7月23日	日赤支部	情報収集、業務支援
	4	7月29日	大仙市峰吉川	泥出し、片付け
	1	8月5日	大仙市峰吉川	泥出し、片付け
	1	8月27日	秋田市雄和	泥出し、片付け
日赤秋田看護大・短 大防災ボランティア・ ステーション	6	7月29日	仙北市角館	泥出し、片付け
	5	8月5日	秋田市	街頭募金
	7	8月8日	秋田市	街頭募金
秋田市赤十字奉仕団	25	7月31日 ～8月3日	各コミセン	募金箱設置
		8月7日	秋田市	街頭募金
秋田市雄和赤十字 奉仕団	20	7月31日 ～8月5日	秋田市雄和 種平・新波・左手子	各地で炊き出し (自治体と協力)
			秋田市雄和 玉葉荘	避難者受入れ・食事提供 (自治体と協力)
大仙市中仙赤十字 奉仕団	5	7月23日	中仙農村環境改 善センター	350人分のおにぎり・味噌汁 炊出し
大潟村赤十字奉仕団	44	7月31日 ～8月5日		奉仕団内で義援金協力
横手市赤十字奉仕団 大森分団	3	7月27日	横手市大森	泥出し、片付け

・義援金の受付・配分

【受付】

受 付 期 間	件 数	受 付 金 額
7月25日～1月25日	695件	93,421,091円

【配分】

秋田県大雨災害募集（配分）委員会において、県共同募金会受付分と合わせた総額 147,460,220円を配分

(2) 県内各地で発生した火災・水害等の被災者に対して、次のとおり日赤地区・分区を通じて救援物資・災害見舞金を贈った。

(平成30年3月31日現在)

区 分	救 援 物 資		見 舞 金 円
	毛 布 枚	緊急セット 個	
秋 田 市	23	11	3,440,000
能 代 市	15	25	40,000
横 手 市	8	3	4,100,000
大 館 市	20	10	140,000
男 鹿 市			
湯 沢 市	8	3	60,000
鹿 角 市		2	80,000
由 利 本 荘 市	32	19	400,000
潟 上 市	2	1	20,000
大 仙 市	25	8	160,000
北 秋 田 市	8	3	60,000
仙 北 市	7	2	380,000
に か ほ 市			40,000
小 坂 町			
上 小 阿 仁 村			
藤 里 町			
三 種 町	5	3	80,000
八 峰 町			
五 城 目 町	2	1	20,000
八 郎 潟 町			
井 川 町			
大 潟 村			
美 郷 町	4	2	60,000
羽 後 町	8	3	60,000
東 成 瀬 村			
計	167	96	9,140,000

2. 訓練・研修会の実施状況

(1) 災害救護訓練等

訓 練 名	期 日	場 所	主 催 者	赤十字関係参加人員	
				人 数	内 訳
「県民防災の日」 訓 練	5月26日	秋 田 市 県庁第2庁舎	秋 田 県	3人	支部2 防Vリーダー1
雄物川水防演習	5月28日	秋 田 市	秋 田 県 国 土 交 通 省 東北地方整備局	32	支部1、病院7 防Vリーダー2 奉仕団員22
秋田県総合防災 訓 練	9月3日	大 館 市	秋 田 県 大 館 市	14	支部4、病院6 防Vリーダー1 奉仕団員3
日 本 赤 十 字 社 第1ブロック支部 合同災害救護訓練	9月13日 ～14日	山 形 県 山 形 市	北海道・東北の 道 県 支 部	11	支部4、病院7
東 北 ブ ロ ッ ク D M A T 参集訓練	9月30日 ～10月1日	福 島 県 福 島 市	福 島 D M A T 福 島 県	3	病院3
秋田空港放火救難 訓 練	10月27日	秋 田 空 港	秋 田 空 港 管 理 事 務 所	1	病院1

(2) 東北DMAT技能維持研修

1回目

期 日 5月20日～21日

会 場 秋田県総合保健センター

参 加 者 D M A T 隊 員 4 人

2回目

期 日 1月13日～14日

会 場 仙台市急患センター

参 加 者 D M A T 隊 員 6 人

(3) 防災教育業務指導者養成研修会

期 日 6月2日～4日

会 場 日本赤十字社

修 了 者 防災ボランティア 2 人

(4) 原子力災害対応基礎研修会

期 日 6月3日

会 場 石巻赤十字病院災害医療研修センター

参 加 者 病院主事 1人

(5) 全国赤十字救護班研修会

期 日 8月5日～7日

会 場 石巻赤十字病院災害医療研修センター

参 加 者 救護員 4人

(6) 救護員研修会

期 日 8月23日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学

参 加 者 救護員 17人

内 容 ・救護班活動について
・救護所開設訓練
・無線通信訓練

(7) 災害派遣医療チーム（DMAT）研修会

期 日 11月26日～30日

会 場 国立機構災害医療センター

修了者 病院職員 5人

(8) 赤十字防災ボランティア・リーダー養成研修会

期 日 11月18日～19日

会 場 日本赤十字社

修了者 防災ボランティア 1人

(9) 赤十字防災ボランティア研修会

期 日 1月20日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 特別奉仕団員 22人

内 容 ・非常炊出し訓練
・災害時のデマについて
・情報収集・伝達訓練

3. 臨時救護

各種団体が開催する公的行事に、次のとおり医師・看護師を派遣した。

派遣期日	行事の名称	派遣場所	派遣延べ人数	取扱患者数
5月21日	平成29年度雄物川総合水防演習リハーサル	秋田市	看護師 1	0
5月28日	平成29年度雄物川総合水防演習	秋田市	医師 1・看護師 3 主事 2・薬剤師 1	4
7月12日	第53回献血運動推進全国大会	秋田市	看護師 2	1
7月22日	平成29年度海難救助訓練大会	にかほ市	看護師 1	0
9月2日	第15回秋田県障害者スポーツ大会	秋田市	医師 1・看護師 1	1
9月9日	ねんりんピック秋田2017総合開会式	秋田市	医師 4・看護師 8 主事 5	43
9月11日	ねんりんピック秋田2017（競技種目 サッカー）	秋田市	医師 2	7
9月23日～ 24日	「AKITA防災キャンプフェス」	秋田市	看護師 4	3
9月27日	第30回秋田県高齢者 8 人制バレーボール親睦交流大会	秋田市	看護師 1	2
10月12日	第55回秋田県老人クラブ大会	秋田市	看護師 1	0
11月7日	日赤秋田県支部創立130周年記念秋田県赤十字大会	秋田市	看護師 2	0
計	11回（延べ12日）	医師 8 人、看護師 24 人 主事 7 人、薬剤師 1 人		61

4. 「赤十字みんなの防災講座」の実施状況

災害に対する意識や発生時に対する対処方法・応急手当についての知識や技術を習得していただくことを目的に、次のとおり実施した。

内容

- ①赤十字と災害救護について
- ②災害時のマメ知識
- ③非常炊き出し実習
- ④救急法等
- ⑤避難所で役立つ知識と技術
- ⑥災害エスノグラフィ
- ⑦DIG（災害図上訓練）

開催地	期 日	主 催 者	対 象	参加人数	時間	指導者
秋 田 市	5月19日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	44	3	(病)三浦則(※)中山
	5月27日	ライオンズマンション千秋公園 管理組合	一 般	45	2	(※)竹内
	6月24日	日赤秋田看護大学・短期大学	大 学 生	92	3	(支)須藤(※)八代
	8月20日	秋田市牛島3丁目町内会	小 学 生	16	1.5	(支)須藤 (※)松淵・渡辺
	9月23日	AKITA防災キャンプフェス 実行委員会	一 般	200	7	(支)須藤

開催地	期 日	主 催 者	対 象	参加 人数	時間	指 導 者
秋 田 市	9 月 24 日	A K I T A 防 災 キ ャ ン プ フ ェ ス 実行委員会	一 般	200	6	(支)須藤
	9 月 24 日	秋田市鳴登町町内会	一 般	18	2	(支)碓谷(※)竹内
	10 月 8 日	秋田市泉中町町内会	一 般	13	2	(※)竹内・岡部
	10 月 14 日	秋田市川崎東町内会	一 般	25	2	(支)須藤(※)竹内
	10 月 15 日	秋田市旭地域災害時要援護者支 援協働会	一 般	45	2	(支)碓谷(※)松渕
	11 月 11 日	秋田市飯島街道公民館	一 般	23	2	(支)須藤
	11 月 12 日	秋田市八橋あけぼの町内会	一 般	77	2	(支)碓谷(※)松渕
	11 月 16 日	飯島小学校 P T A	一 般	19	2	(※)佐々木靖・竹内 松渕
	1 月 11 日	栗田支援学校	一 般	90	2.5	(支)碓谷・須藤 (※)菅原
能 代 市	9 月 26 日	(株)松峰苑	一 般	46	1.5	(支)碓谷・鎌田
	11 月 15 日	淳城南小学校	小 学 生 地域住民	60	2	(支)須藤 (※)佐藤勇・秋山
	11 月 30 日	能代支援学校	児童・生徒 教 職 員 一 般	125	2.5	(支)碓谷・須藤 (※)佐藤勇・糸屋賢
	12 月 19 日	能代東中学校	中 学 生 教 職 員 地域住民	161	2	(支)稲岡(病)遠藤 (※)中山
横 手 市	4 月 19 日	衛生看護学院	専門学生	38	3	(支)稲岡
	7 月 23 日	横手市赤十字奉仕団平鹿分団	奉仕団員	25	2.5	(※)佐藤美
	11 月 26 日	日赤横手市地区大森分区	奉仕団員 一 般	22	2	(※)竹内
	12 月 5 日	日赤横手市地区大雄分区	奉仕団員	50	3	(支)須藤 (※)佐々木靖・高橋文
大 館 市	6 月 20 日	大館市赤十字奉仕団	奉仕団員	130	2.5	(※)佐々木靖・梅田 大塚・秋山
	9 月 15 日	比内支援学校	児童・生徒 教 職 員	35	2.5	(支)碓谷・須藤 (※)梅田
	12 月 26 日	宗教法人 本宮寺	小 学 生	19	2	(支)須藤
	3 月 1 日	大館市比内公民館	奉仕団員 一 般	40	2	(支)須藤 (※)梅田・秋山
男 鹿 市	6 月 15 日	男鹿市中央公民館	奉仕団員	85	4	(支)須藤 (※)梅田・藤田
	6 月 18 日	男鹿市	一 般	30	1	(※)竹内
湯 沢 市	12 月 6 日	稲川支援学校	生徒・職員 保 護 者	43	1	(※)八代

開催地	期 日	主 催 者	対 象	参加 人数	時間	指導者
由利本荘市	8月6日	由利本荘市蓼沼町内会	一 般	48	1	(※)竹内・阿部・岡部
	8月27日	由利本荘市長坂町内会	一 般	47	1.5	(支)須藤 (※)佐々木弘・岡部
	9月21日	日赤由利本荘市地区由利分区	奉仕団員 一 般	63	3	(支)稲岡 (※)荘司・佐藤美
	11月18日	日赤由利本荘市地区西目分区	奉仕団員 一 般	61	3	(支)稲岡(※)武田
潟 上 市	9月8日	支援学校天王みどり学園	児童・生徒 教 職 員 一 般	150	2	(支)佐々木(※)竹内
	2月18日	下町町内会	一 般	11	1.5	(支)須藤(※)竹内
大 仙 市	10月25日	日赤大仙市地区仙北分区	奉仕団員 一 般	30	2.5	(病)津谷(※)武田
	11月22日	日赤大仙市地区西仙北分区	奉仕団員 一 般	19	2	(支)碓谷・須藤 (※)佐藤美
に か ほ 市	3月8日	にかほ市社会福祉協議会	奉仕団員 一 般	57	4	(支)碓谷・稲岡
仙 北 市	10月28日	日赤仙北市 仙北市ボランティアまつり実行 委員会	奉仕団員 一 般	30	1	(支)須藤
	10月7日	秋田県キャンプ協会	一 般	15	3.5	(※)糸屋幸
上小阿仁村	5月10日	上小阿仁村赤十字奉仕団	奉仕団員 一 般	44	2	(支)稲岡
三 種 町	5月25日	三種町琴丘赤十字奉仕団	奉仕団員	35	1	(支)碓谷
	11月14日	三種町山本赤十字奉仕団	奉仕団員	26	2	(支)稲岡
五 城 目 町	1月28日	西礒ノ目町内会	一 般	30	2	(※)竹内・大塚
八 郎 潟 町	12月8日	日赤八郎潟町分区	奉仕団員 一 般	85	2	(支)須藤
大 潟 村	11月17日	大潟小学校	小 学 生 保 護 者	40	2	(支)須藤 (※)秋山・梅田
羽 後 町	7月5日	羽後中学校	中 学 生 教 職 員	117	5.5	(支)高橋・松橋・須藤 (※)畠山・阿部・大塚
計		47回		2,724	114	

※指導者欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(※)はボランティアを表す。

5. 赤十字災害救援車の寄贈配置

地域において、赤十字活動の推進に活用いただくことを目的に、平成15年度から年次計画に基づき災害救援車を市町村（地区・分区）に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

寄 贈 台 数	6 台
車 種	デイズ（軽四輪自動車）
寄 贈 市 町	大館市・鹿角市・大仙市（2 台）・北秋田市・三種町
累 計	82台（平成15年度～）

6. 救護装備の寄贈配置

地域において住民の安全・健康の保持や地域活動の活性化に資することを目的に、救護装備品を地区・分区に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

(1) 移動炊飯器

配置台数	4 台
配置地区・分区	男鹿市・大仙市・三種町（2 台）
累 計	73台（平成20年度～）

(2) A E D（自動体外式除細動器）

配置台数	10台
配置地区・分区	秋田市（2 台）・能代市（4 台）・大館市（2 台）・湯沢市 潟上市
累 計	114台（平成20年度～）

(3) 発電機

配置台数	3 台
配置地区・分区	仙北市・大潟村・美郷町
累 計	31台（平成26年度～）

(4) ワンタッチテント

配置台数	12張
配置地区・分区	横手市・湯沢市・由利本荘市（2 張）・潟上市・大仙市 北秋田市・にかほ市・藤里町・八峰町・五城目町 東成瀬村
累 計	26張（平成28年度～）

7. 救護資器材の整備

- ・救護班装備（肘当て・膝当て・手袋・安全靴・ゴーグル・ヘッドランプ・救命胴衣・非常食）
- ・ワンタッチテント

8. 救護員登録状況

(1) 救護員登録状況

（平成30年3月31日現在）

施設別	人数（人）		
	災害対策本部要員	救護班要員	血液供給要員
支部	5	—	—
病院	4	66	—
血液センター	2	—	3
計	11	66	3

(2) 救護班の編成状況

（平成30年3月31日現在）

常置施設	救護班数（班）	救護班要員数（人）	職種別要員数（人）
病院	9	66	医師 9 看護師長 9 看護師 18 看護士 18 薬剤師 9 助産師 3

9. 防災ボランティア登録状況

（平成30年3月31日現在）

区分	登録団体数	男女別数（人）		計（人）
(1) 団体	1	男	82	86
		女	4	
(2) 個人	—	男	22	34
		女	12	
(3) 防災ボランティア・リーダー	—	男	5	6
		女	1	
計	1	男	109	126
		女	17	

10. 救護資器材の主な装備状況

資 器 材 名	数 量	備 考
150MHZ帯業務用無線機	31	基地局1、移動局23、携帯用7（血液センターを含む）
400MHZ帯業務用無線機	24	基地局1、移動局9、携帯用14
アマチュア無線機	4	アマチュア無線奉仕団用（内、携帯用2）
防災行政用無線電話	1	
衛星携帯電話	3	
デジタル簡易無線機	10	
トランシーバー	10	
医療セット	3	
携帯型医療セット	1	
発電機	5	
投光器	2	
担架	15	
スクープストレッチャー	1	救急用担架
折りたたみ寝台	39	
天幕	8	
移動炊飯器	6	
救急車	3	病院
災害救援車	6	支部
エアーテント	2	患者収容用1、診察用1
組立てトイレ	47	
浄水機	1	
患者掲示板	1	
ホワイトボード	1	
担架架台	1	
折りたたみ診察台	1	
折りたたみテーブル	2	
折りたたみ椅子	4	
医療セット置き台	1	
パーソナルコンピューター	2	
拡声器	2	
救護所標示灯	1	
救護活動用自転車	1	

資 器 材 名	数 量	備 考
救護活動用車椅子	1	
トリアージシート	2	4色（黒・赤・黄・青）×2組
パルスオキシメーター	1	
AED	1	
フレームテント	2	
ポータブルテレビ	1	

11. 救護物資の備蓄状況

品 名	数 量
毛 布	3,250枚
緊 急 セ ッ ト	2,014個
安 眠 セ ッ ト	569個

12. 救護看護師の養成等

- (1) 「救護員としての赤十字看護師」として登録・任命するため必要な知識、技術、態度を習得することを目的とし、秋田赤十字病院に採用された3年目の看護師を対象に5日間の研修を実施した。(修了者24人)
- (2) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学在校生 126人（看護学科106人、介護福祉学科20人）に対し、救急法等講習教材（救急法等講習教本、教材セット）を贈呈した。

13. 義援金（救援金）の受付状況

（平成30年3月31日現在）

名 称	件数（件）	金額（円）
東日本大震災義援金	61	1,475,358
平成28年熊本地震災害義援金	30	288,813
平成28年新潟県糸魚川市大規模火災義援金	6	83,783
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	83	1,428,554
秋田県大雨災害義援金	695	93,421,091
台風第18号災害義援金	13	923,502
台風第21号災害義援金	8	104,817
南アジア水害救援金	4	37,407
バングラデシュ南部避難民救援金	3	3,842
NHK海外たすけあいキャンペーン	380	3,056,701
計	888	100,823,868

7. 救急法・健康生活支援講習等の普及

1. 総 括 表

	講 習 名 称	回 数 (回)	受講者数 (人)	資格修得者数 (人)
救 急 法	基礎講習	26	576	576
	救急員養成講習	15	404	401
	短期講習	169	7,848	
	計	210	8,828	977
健康 生活 支援 講習	支援員養成講習	4	127	127
	災害時高齢者生活支援講習	16	884	
	短期講習	74	3,944	
	計	94	4,955	127
水 上 安 全 法	救助員Ⅰ養成講習	1	9	7
	短期講習	19	885	
	計	20	894	7
幼 児 安 全 法	支援員養成講習	4	135	134
	短期講習	61	1,378	
	計	65	1,513	134
雪 上 安 全 法	救助員Ⅰ養成講習	1	16	15
	短期講習	0	0	
	計	1	16	15
総 計		390	16,206	1,291

2. 救 急 法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助して、医師または救急隊などに引き継ぐまでの救命手当及び応急手当について指導する救急法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	4月27日	(株)ユアテック秋田支社	従 業 員	12	4	(須)藤(※)竹内	
	5月12日	秋田リハビリテーション学院	専 門 学 生	39	1.5	(※)長谷川	
	5月16日	秋田県林業労働対策基金	林 業 従 事 者	28	4	(須)藤(※)松淵・梅田	
	5月17日	特別養護老人ホーム 太平荘	介護施設職員	24	1.5	(※)長谷川・渡辺・竹内	
	5月19日	(株)中山組	従 業 員	17	4	(須)藤・竹内	
	5月22日	秋田北高等学校	高 校 生	170	1	(須)藤(※)梅田・岡部	
	5月22日	秋田北高等学校	高 校 生	170	1	(須)藤(※)梅田・岡部	
	5月22日	秋田北高等学校	高 校 生	170	1	(須)藤(※)梅田・岡部	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	5 月 23 日	日赤秋田県支部 秋田県青少年赤十字指導者協議会	教 職 員	16	1	(※) 碓谷・須藤	
	5 月 24 日	秋田県長寿社会振興財団	介護施設職員	30	2	(※) 渡辺・岡部・中山	
	5 月 24 日	秋田県長寿社会振興財団	介護施設職員	30	2	(※) 渡辺・岡部・中山	
	5 月 24 日	秋田県長寿社会振興財団	介護施設職員	25	2	(※) 渡辺・岡部・中山	
	5 月 27 日	ライオンズマンション千 秋公園管理組合	一 般	45	1	(※) 竹内	
	5 月 27 日	ライオンズマンション千 秋公園管理組合	一 般	45	1	(※) 竹内	
	5 月 28 日	日赤秋田県支部	一 般	232	5	(※) 畠山邦・柴田・高橋邦	
	6 月 11 日	黒沼協和会	一 般	36	1	(※) 竹内・岡部・中山	
	6 月 11 日	黒沼協和会	一 般	36	1	(※) 竹内・岡部・中山	
	6 月 12 日	秋田南高等学校・中中部	教 職 員	16	1.5	(※) 竹内・松渕	
	6 月 13 日	秋田南高等学校・中中部	教 職 員	13	1.5	(※) 梅田・松渕	
	6 月 16 日	秋田県労働基準協会	一 般	97	3	※別記 1	
	6 月 19 日	向浜スポーツゾーン総合 事務所	監 視 員	16	1	(※) 佐々木・須藤(※) 畠山邦・三 森	
	6 月 23 日	(有)秋田グリーンサービス	従 業 員	35	1	(※) 竹内・藤田理	
	6 月 24 日	秋田県赤十字救急法奉仕 団	一 般	12	4	※別記 2	
	6 月 29 日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師	26	4	※別記 3	
	6 月 30 日	秋田大学教育文化学部付 属小学校 P T A	小学生・保護者	100	1	(※) 伊藤三・渡辺	
	6 月 30 日 7 月 3 日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師	26	12	※別記 4	26
	7 月 1 日 ～ 2 日	秋田県赤十字救急法奉仕 団	一 般	12	12	※別記 5	12
	7 月 3 日 7 月 5 日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	26	4	(※) 田口・小西・中川	
	7 月 5 日	秋田県社会福祉協議会	団 体 職 員	115	0.5	(※) 碓谷・鎌田・高橋周	
	7 月 7 日 ～ 14 日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	26	12	(※) 田口・小西・中川	26
	7 月 8 日	御所野小学校 P T A	保 護 者	24	2	(※) 碓谷(※) 藤田理	
	7 月 22 日	日赤秋田県支部 赤十字水上安全法奉仕団	一 般	9	4	※別記 6	
	7 月 26 日	日赤秋田県支部	地区分区担当者	11	1	(※) 碓谷・高橋真・松橋・須藤	
	7 月 26 日	秋田中央高等学校	教職員・高校生	32	1.5	(※) 竹内・梅田・渡辺	
	7 月 27 日	秋田県社会福祉協議会	介護施設職員	21	1.5	(※) 須藤 (※) 竹内・松渕	
	7 月 29 日	日赤秋田県支部	中学生・高校生	20	1	(※) 碓谷・稲岡・須藤・高橋周 (※) 竹内・鎌田	
	8 月 2 日	(株)佐藤電機工業所	従 業 員	22	4	(※) 須藤(※) 藤田理	
	8 月 20 日	牛島東 3 丁目町内会	小 学 生	16	1	(※) 須藤(※) 松渕・渡辺	
	8 月 24 日	戸島小学校	教 職 員	12	1	(※) 竹内・藤田理・中山	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	8 月 25 日	三井生命保険(株)秋田支社	社 員 ・ 一 般	20	1	(改)須藤(改)竹内	
	8 月 28 日	日赤秋田短期大学	大 学 生	20	4	(改)須藤(改)竹内・松渕・中山	
	8 月 29 日 ～ 30 日	日赤秋田短期大学	大 学 生	20	12	(改)碓谷・須藤(改)梅田	18
	8 月 31 日	ショートステイ ラ・ボア・ラクテ	施 設 職 員	16	1	(改)須藤(改)竹内・長谷川	
	9 月 6 日	秋田県長寿社会振興財団	介護施設職員	25	2	(改)碓谷・須藤	
	9 月 6 日	秋田県長寿社会振興財団	介護施設職員	27	2	(改)碓谷・須藤(改)竹内	
	9 月 6 日	秋田県長寿社会振興財団	介護施設職員	28	2	(改)碓谷・須藤	
	9 月 9 日	秋田県・日赤秋田県支部	一 般	42	6	(改)稲岡(改)八代・松渕・渡辺	
	9 月 10 日	秋田県・日赤秋田県支部	一 般	43	6	(改)稲岡(改)松渕・竹内・岡部	
	9 月 11 日	秋田県・日赤秋田県支部	一 般	20	5	(改)稲岡(改)松渕	
	9 月 15 日	市立旭南小学校	小 学 生	54	1	(改)佐々木(改)伊藤三・大塚	
	9 月 20 日	日赤秋田看護大学・短期大学	大 学 生	236	2	(改)荻原・(改)渡辺	
	9 月 20 日	日赤秋田看護大学・短期大学	大 学 生	236	2	(改)須藤(改)新沼	
	9 月 20 日	日赤秋田看護大学・短期大学	大 学 生	236	2	(改)竹内・松渕	
	9 月 23 日	日赤秋田県支部	小 学 生	10	1	(改)碓谷・須藤(改)菅原ト	
	9 月 23 日	AKITA 防災キャンプフェ ス実行委員会	一 般	150	6	※別記 7	
	9 月 24 日	鳴登町町内会	一 般	18	1	(改)碓谷(改)竹内	
	9 月 24 日	AKITA 防災キャンプフェ ス実行委員会	一 般	150	5	※別記 8	
	9 月 26 日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	20	1.5	(改)長谷川・渡辺・竹内	
	9 月 27 日	介護老人福祉施設 南寿園	介護施設職員	28	1	(改)渡辺・竹内	
	9 月 28 日	秋田県林業労働対策基金	林 業 従 事 者	8	4	(改)梅田・中山	
	9 月 29 日	秋田大学教育文化学部付 属特別支援学校 P T A	保 護 者	8	1.5	(改)須藤(改)根田・水澤	
	10 月 8 日	泉中町町内会	一 般	13	1	(改)竹内・岡部	
	10 月 13 日	秋田県労働基準協会	酸欠講習受講者	100	2	※別記 9	
	10 月 14 日	川崎東町町内会	一 般	25	0.5	(改)須藤(改)竹内	
	10 月 14 日	川崎東町町内会	一 般	25	1	(改)須藤(改)竹内	
	10 月 15 日	旭地域災害時要援護者支 援協会	一 般	45	1	(改)碓谷(改)松渕	
	11 月 8 日 ～ 9 日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	38	4	(改)田口・小西・中川	
	11 月 9 日	(株)大京アステージ東北支 店秋田エリア	従 業 員	8	2	(改)竹内	
	11 月 11 日	秋田市飯島街道町内会	一 般	23	0.5	(改)須藤	
	11 月 11 日	秋田市飯島街道町内会	一 般	23	0.5	(改)須藤	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	11月12日	秋田市八橋あけぼの町内会	一 般	77	1	(※)碓谷(※)松淵	
	11月13日 ～20日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	38	12	(※)田口・小西・中川	38
	11月16日	飯島小学校	保 護 者	19	1.5	(※)竹内・松淵・佐々木靖	
	11月16日	グループホームひふみ	施 設 職 員	5	1.5	(※)須藤(※)根田	
	11月17日	社会福祉法人いづみ会	施 設 職 員	27	2	(※)須藤(※)竹内	
	12月 2 日	留見瀬サロン	一 般	13	2	(※)須藤(※)藤田理	
	12月 2 日	日本防災士会秋田県支部	防 災 士	18	4	(※)莊司・竹内・渡辺	
	12月 3 日	日赤秋田県支部	一 般	26	4	(※)須藤(※)八代・竹内・渡辺	
	11月21日	秋田県労働基準協会	一 般	35	2	(※)碓谷	
	12月 6 日	秋田リハビリテーション学院	大 学 生	39	4	(※)須藤(※)菅原ト・長谷川・渡辺	
	12月 7 日	秋田県サッカー協会	サッカー指導者	4	1	(※)長谷川	
	12月 9 日	秋田県青年赤十字奉仕団連絡協議会	奉 仕 団 員	32	1	(※)松橋・須藤(※)新山	
	12月 9 日 ～10日	日赤秋田県支部	一 般	23	12	※別記 10	23
	12月12日	社会福祉法人一羊会	施設職員・利用者	38	0.5	(※)須藤	
	12月12日	社会福祉法人一羊会	施設職員・利用者	38	0.5	(※)須藤	
	12月13日	社会福祉法人一羊会	施設職員・利用者	20	0.5	(※)須藤	
	12月13日	社会福祉法人一羊会	施設職員・利用者	20	0.5	(※)須藤	
	12月13日 12月20日	秋田リハビリテーション学院	学 生	32	12	(※)碓谷・須藤(※)長谷川・渡辺・竹内	32
	12月15日	社会福祉法人一羊会	施設職員・利用者	22	0.5	(※)須藤	
	12月15日	社会福祉法人一羊会	施設職員・利用者	22	0.5	(※)須藤	
	12月15日	社会福祉法人一羊会	施設職員・利用者	23	0.5	(※)須藤	
	12月15日	社会福祉法人一羊会	施設職員・利用者	23	0.5	(※)須藤	
	12月17日	秋田県水泳連盟	水 泳 指 導 員	25	1.5	(※)成田・大塚	
	12月19日	特別養護老人ホーム 中通	施 設 職 員	40	1	(※)須藤	
	12月19日	特別養護老人ホーム 中通	施 設 職 員	40	1	(※)須藤	
	1 月12日	御所野学院中学校	教 職 員	16	1	(※)須藤	
	1 月13日	秋田県子ども会育成連合会	中学生・高校生・ 一 般	35	1.5	(※)須藤(※)竹内	
	1 月15日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	4	(※)須藤	
	1 月16日 ～17日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	38	12	(※)碓谷・須藤	38
	1 月22日	日赤秋田看護大学	大 学 生	49	4	(※)碓谷・須藤(※)新沼(※)松淵	
	1 月23日 ～24日	日赤秋田看護大学	大 学 生	49	12	※別記11	49

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	1月26日	(株) NTT 東日本サービス	従 業 員	21	1	(改) 碓谷・須藤	
	1月29日	日赤秋田看護大学	大 学 生	57	4	(改) 須藤(改) 新沼・萩原	
	1月30日 ～31日	日赤秋田看護大学	大 学 生	57	12	※別記12	57
	2月9日	秋田県労働基準協会	一 般	95	1.5	※別記13	
	2月18日	秋田県サッカー協会	サッカー指導者	20	1	(改) 長谷川	
	2月22日	わらべ会 稲庭クリニック	施 設 職 員 般	9	1	(改) 須藤	
	2月22日	秋田県地質調査業協会	一 般	46	1.5	(改) 碓谷・須藤	
	2月22日	秋田県地質調査業協会	一 般	46	1	(改) 碓谷・須藤	
	2月24日	赤十字防災ボランティアステーション	高校生・大学生	50	1	(改) 須藤(改) 渡辺	
	3月3日	秋田県サッカー協会	サッカー指導者	21	1	(改) 長谷川	
	3月5日	秋田県警察機動隊	警 察 官	38	4	(改) 田口・小西	
	3月6日 ～7日	秋田県警察機動隊	警 察 官	38	12	(改) 田口・小西	38
	3月10日	日赤秋田県支部	一 般	21	4	※別記14	
	3月11日 3月17日	日赤秋田県支部	一 般	22	12	※別記15	22
	3月16日	聖霊女子短期大学 附属高等学校	高 校 生	102	1	(改) 碓谷・須藤(改) 竹内	
	3月16日	聖霊女子短期大学 附属高等学校	高 校 生	100	1	(改) 碓谷・須藤(改) 竹内	
	3月24日	秋田県赤十字血液センター	一 般	6	1	(血) 若林	
	3月24日	秋田県赤十字血液センター	一 般	6	1	(血) 若林	
能 代 市	6月23日	第四小学校	小 学 生	100	1	(改) 須藤(改) 佐藤勇・大塚・秋山里	
	7月19日	能代東中学校	中 学 生	140	1	(改) 碓谷・須藤(改) 佐藤勇・梅田・秋山里	
	9月26日	(株) 松峰苑	施 設 職 員	46	1	(改) 碓谷・鎌田	
	10月1日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	4	4	(改) 佐藤勇・今井・大塚	
	10月28日	日赤能代市地区	小学生・奉仕団員	55	1.5	(改) 佐藤勇・大塚	
	11月3日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	13	4	※別記16	
	11月4日 ～5日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	11	12	※別記17	11
	11月15日	淳城南小学校	小学生・一般	60	1	(改) 須藤(改) 佐藤勇・秋山里	
	11月30日	能代支援学校	児 童 ・ 生 徒	125	2	(改) 佐藤勇・糸屋賢	
	11月30日	能代支援学校	児 童 ・ 生 徒	125	2	(改) 碓谷・須藤	
	12月1日	(株) ユアテック秋田支社	従 業 員	12	1	(改) 須藤(改) 大塚・秋山里	
	12月1日	(株) ユアテック秋田支社	従 業 員	12	1	(改) 須藤(改) 大塚・秋山里	
横 手 市	8月24日	生活訓練施設やまぶき	施 設 職 員	15	0.5	(改) 須藤(改) 佐々木靖	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
横 手 市	8 月24日	生活訓練施設やまぶき	施 設 職 員	15	0.5	(改)須藤(改)佐々木靖	
	10月15日	東北地方郵便局長協会 横手部会	一 般	24	1.5	(改)竹内・中山	
	10月15日	東北地方郵便局長協会 横手部会	一 般	24	1	(改)竹内・中山	
	10月21日	介護老人保健施設 西風苑	施 設 職 員	9	1.5	(改)須藤(改)八嶋	
	10月22日	介護老人保健施設 西風苑	施 設 職 員	17	1.5	(改)竹内・八嶋	
	11月12日	介護老人保健施設 西風苑	施 設 職 員	14	1.5	(改)竹内・八嶋	
	11月18日	秋田県赤十字救急法奉仕 団	一 般	5	4	※別記18	
	11月19日 11月23日	秋田県赤十字救急法奉仕 団	一 般	4	12	※別記19	3
	11月26日	日赤横手市大森分区	奉 仕 団 員	22	1	(改)竹内	
	12月 5 日	日赤横手市大森分区	奉 仕 団 員	50	1	(改)須藤(改)佐々木靖・高橋文	
	12月17日	日本防災士会秋田県支部	防 災 士	16	4	(関)竹澤(改)荘司・竹内	
大 館 市	6 月20日	大館市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	130	1.5	(改)佐々木・梅田・大塚・秋山里	
	7 月29日	秋田県キャンプ協会	小学生・保護者	27	1	(改)糸屋幸	
	9 月15日	比内支援学校	生 徒	30	1	(改)碓谷	
	3 月 1 日	大館市立比内公民館扇田 分館	奉 仕 団 員	40	1	(改)須藤(改)梅田・秋山里	
由利本荘市	4 月25日	西目町婦人会	一 般	23	1	(改)佐藤美	
	6 月14日	西目小学校	小 学 生	165	1	(改)碓谷(改)荘司・佐藤美	
	6 月14日	西目小学校	教 職 員	22	1	(改)碓谷(改)荘司・佐藤美	
	6 月22日	大内小学校	小 学 生	22	1	(改)碓谷・須藤(改)藤田ま	
	6 月30日	ゆり支援学校	教 職 員	40	1.5	(改)須藤(改)荘司・佐々木弘	
	7 月18日	由利高等学校	教 職 員	40	1	(改)須藤(改)荘司・佐々木弘	
	7 月18日	由利高等学校	教 職 員	40	0.5	(改)須藤(改)荘司・佐々木弘	
	8 月 6 日	蓼沼町内会	一 般	48	1	(改)竹内・阿部・岡部	
	8 月27日	長坂町内会	一 般	47	1	(改)須藤(改)佐々木弘・岡部	
	9 月27日	日赤由利本荘市鳥海分区	奉 仕 団 員	30	1.5	(改)須藤(改)荘司	
	11月29日	介護老人保健施設 あまさぎ園	施 設 職 員	15	2	(改)須藤(関)水澤	
男 鹿 市	5 月26日	払戸小学校	小 学 生	105	1	(改)佐々木(改)中山・秋山里	
	6 月15日	日赤男鹿市地区 男鹿市中央公民館	奉 仕 団 員	85	3	(改)須藤(改)藤田里・梅田	
	10月 3 日	日赤男鹿市地区	一 般	18	2	(関)水澤(改)松淵・佐々木靖	
湯 沢 市	4 月24日	(株)柴田工事調査	従 業 員	14	4	(改)須藤(改)阿部	
	8 月31日	三関小学校	教 職 員	10	1	(改)須藤(改)阿部	

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
湯 沢 市	9月27日	雄勝中学校	中 学 生	40	1	(※)銭谷	
	10月30日	日赤湯沢市地区 湯沢市体育協会	一 般	28	1	(※)須藤(※)阿部	
	11月14日	山田中学校	中 学 生	23	1	(※)須藤(※)土井智・土井雅	
	11月14日	山田中学校	中 学 生	23	1	(※)須藤(※)土井智・土井雅	
	12月1日	湯沢市教育委員会	スキー場業務従事者	20	0.5	(※)阿部・高橋文	
	12月1日	湯沢市教育委員会	スキー場業務従事者	20	0.5	(※)阿部・高橋文	
	12月1日	湯沢市教育委員会	スキー場業務従事者	20	1	(※)阿部・高橋文	
	12月1日	湯沢市教育委員会	スキー場業務従事者	20	1	(※)阿部・高橋文	
	1月12日	湯沢南中学校	教 職 員	24	2	(※)須藤(※)阿部	
	2月26日	湯沢翔北高等学校 専攻科	専 門 学 生	8	4	(※)淀谷(※)阿部	
	2月27日 ～28日	湯沢翔北高等学校 専攻科	専 門 学 生	8	12	(※)佐々木	8
大 仙 市	5月16日	秋田県立リハビリテーション・ 精神医療センター	理 学 療 法 士	24	1.5	(※)長谷川	
	6月30日	大曲農業高等学校 太田分校	高 校 生	58	1	(※)淀谷(※)高橋邦・高橋文	
	6月30日	大曲農業高等学校 太田分校	高 校 生	58	1	(※)淀谷(※)高橋邦・高橋文	
	7月5日	協和小学校	保 護 者	120	0.5	(※)中山・藤井玲	
	7月15日	東邦技術(株)	従 業 員	50	1	(※)竹内・高橋邦・長谷川	
	7月15日	東邦技術(株)	従 業 員	50	1	(※)竹内・高橋邦・長谷川	
	10月25日	日赤大仙市仙北分区	奉 仕 団 員	30	2	(※)津谷(※)武田	
	11月22日	日赤大仙市西仙北分区	奉 仕 団 員	19	1.5	(※)淀谷・須藤(※)佐藤美	
鹿 角 市	7月13日	花輪北小学校	小学生・一般	250	1	(※)淀谷・須藤(※)梅田	
	1月18日	比内支援学校かづの校	高 校 生	39	2	(※)須藤	
北秋田市	7月8日	日赤北秋田市地区	監 視 員	22	1	(※)須藤(※)成田・長内・大塚	
	11月20日	北秋田市森吉赤十字奉仕 団	奉 仕 団 員	49	2	(※)須藤(※)梅田・佐々木靖	
	12月16日	日本防災士会秋田県支部	防 災 士	11	4	(※)竹内・渡辺	
潟 上 市	9月8日	支援学校天王みどり学園	生徒・教職員・ 一 般	150	0.5	(※)佐々木(※)竹内	
にかほ市	6月19日	仁賀保高等学校	高 校 生	93	1	(※)須藤(※)荘司・岡部	
	7月6日	にかほ市教育委員会	監 視 員	10	1	(※)佐々木	
仙 北 市	8月2日	仙北市	一 般	14	1.5	(※)佐々木靖	
	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	16	1	(※)土井智・佐々木靖	
	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	16	0.5	(※)土井智・佐々木靖	
	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	16	0.5	(※)土井智・佐々木靖	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
仙北市	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	16	0.5	(※)土井智・佐々木靖	
	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	16	0.5	(※)土井智・佐々木靖	
	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	16	0.5	(※)土井智・佐々木靖	
	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	16	0.5	(※)土井智・佐々木靖	
五城目町	6月21日	五城目警察署	警 察 官	35	0.5	(※)竹内・松淵・梅田	
	1月28日	西磯ノ目町内会	一 般	30	1	(※)竹内・大塚	
大 潟 村	6月12日	日赤大潟村分区	一般・監視員	8	1	(※)佐藤勇・大塚	
	11月17日	大潟小学校	小学生・保護者	40	0.5	(※)須藤(※)梅田・秋山里	
羽 後 町	7月3日	羽後明成小学校	小 学 生	51	1	(※)須藤(※)伊藤三・大塚・藤田ま	
	7月5日	羽後中学校	中 学 生	117	1	※別記20	
岩 手 県 盛 岡 市	5月13日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	17	1	(※)佐々木靖	
	5月13日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	17	1	(※)佐々木靖	
	5月13日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	17	1	(※)佐々木靖	
宮 城 県 栗 原 市	7月8日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	9	1	(※)佐々木靖	
	7月8日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	9	1	(※)佐々木靖	
	7月8日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	9	1	(※)佐々木靖	
計	210回			8,828	506		401

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(血)は血液センター職員、(乳)は乳児院職員、(看)は日赤看護大職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救急員養成講習(12時間)を修了し、検定の結果「救急員」に合格した者の数を表す。

※別記1 (支) 佐々木・碓谷・須藤(病) 竹澤・石井・齋藤・佐川(ボ) 荘司・竹内・渡辺

※別記2 (ボ) 田口・竹内・八代・中山・岡部・渡辺・菅原勝

※別記3 (病) 菊地・齋藤・三浦・堀江・伊藤・中川・鎌田

※別記4 (病) 井上・菊地・藤原・増井・大原・安田・清水・竹澤(ボ) 佐藤正 洩

※別記5 (支) 須藤 (ボ) 田口・竹内・八代・高橋邦・松淵・岡部・渡辺

※別記6 (支) 須藤(病) 竹澤・伊藤衣(ボ) 畠山邦・佐藤勇・三森・糸屋幸・今井・長内・齋藤幸・成田・大塚・伊藤三・藤田ま・新山

※別記7 (支) 高橋周(ボ) 糸屋幸・八代・岡部・梅田・渡辺

※別記8 (支) 碓谷・須藤(大) 新沼・荻原(ボ) 三森・糸屋幸・岡部・竹内

※別記9 (支) 碓谷・須藤(病) 竹澤・船木・鈴木・鎌田(ボ) 荘司・竹内・梅田・中山

※別記10 (支) 碓谷・須藤(ボ) 糸屋幸・長谷川・竹内・岡部・渡辺

※別記11 (支) 碓谷・須藤(大) 新沼・荻原(ボ) 松淵・竹内・梅田・高橋邦

※別記12 (支) 碓谷・須藤(大) 新沼・荻原(ボ) 松淵・竹内・梅田

※別記13 (支) 鎌田・須藤(病) 竹澤・菊地・清水・津谷(ボ) 荘司・竹内・松淵・秋山里

※別記14 (ボ) 長内・竹内・佐藤美・中山・渡辺

※別記15 (支) 須藤(ボ) 松淵・高橋邦・竹内・佐藤美・中山・渡辺※別記16 (支) 須藤(ボ) 佐藤勇・柴田・長内・糸屋幸・富樫善・大塚

※別記17 (支) 須藤(ボ) 佐藤勇・柴田・長内・糸屋幸・富樫善・大塚・秋山里

※別記18 (支) 須藤(ボ) 竹内・藤井・高橋文・藤田ま

※別記19 (支) 須藤(ボ) 佐々木清・阿部・高橋佳・土井智・高橋邦・岡部・藤井・高橋文・土井雅・竹内

※別記20 (支) 高橋真・松橋・須藤 (ボ) 畠山邦・阿部・大塚

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日	4月22日
会 場	秋田県社会福祉会館 2階展示ホール
参加者数	74人
研修内容	・講習普及方針について ・熊本地震災害救護活動報告 ・東ティモール赤十字社救急法普及支援事業派遣報告 ・グループワーク「平成28年度の講習普及状況と課題」

3. 健康生活支援講習

高齢期を迎える前からの健康管理の備え、地域での高齢者支援、高齢者の介護方法を紹介する健康生活支援講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	4月13日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	44	3	(技)稲岡	
	5月18日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	44	3	(調)三浦耐(技)中山	
	5月19日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	44	3	(調)三浦則(技)中山	
	5月19日	秋田赤十字病院	一 般	23	1	(調)白渡・鈴木・三浦耐	
	5月25日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	44	3	(技)稲岡	
	6月1日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	43	3	(調)新谷	
	6月2日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	43	3	(技)稲岡	
	6月5日	秋田市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	72	2	(技)稲岡	
	6月8日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	43	3	(調)伊藤	
	6月15日 6月16日	日赤秋田県支部	一 般	11	12	(技)稲岡	11
	6月18日	秋田市東通町内会	一 般	15	2	(技)稲岡	
	6月22日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	44	3	(技)稲岡(調)鈴木	
	6月23日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	44	3	(技)稲岡(技)中山	
	6月25日	秋田県赤十字芸能奉仕団	一 般	500	0.5	(技)稲岡	
	6月29日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	44	3	(技)稲岡(調)三浦耐	
	6月30日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	44	3	(技)稲岡(調)中山	
	7月2日	秋田市飯島地区社会福祉協議会	一 般	79	1	(技)稲岡	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	7 月 7 日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師 手 看 護 助 手	23	1.5	(調)鳴海・牧野・新野	
	7 月19日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師 手 看 護 助 手	23	1.5	(調)一関・小松・佐藤幸	
	7 月26日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	10	1.5	(技)稲岡	
	7 月28日	(株)三井生命	一 般	20	1.5	(技)稲岡	
	9 月 9 日	秋田県・日赤秋田県支部	一 般	212	7	(技)稲岡(調)一関	
	9 月10日	秋田県・日赤秋田県支部	一 般	288	7	(技)稲岡(調)松橋	
	9 月11日	秋田県・日赤秋田県支部	一 般	205	6	(技)稲岡(調)小松	
	9 月13日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師 手 看 護 助 手	21	1.5	(調)黒井・柴田	
	9 月15日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	25	1.5	(技)稲岡	
	10月12日	秋田市牛島ひまわり学級	一 般	11	1.5	(技)菅原	
	11月27日	秋田市赤十字奉仕団桜横森分団	奉 仕 団 員 一 般	56	1.5	(技)稲岡	
	11月30日	秋田市赤十字奉仕団大住分団	奉 仕 団 員 一 般	68	2	(技)稲岡(技)菅原	
	12月 7 日 12月 8 日	日赤秋田短期大学	大 学 生	13	12	(技)稲岡(調)一関・船木	13
	12月15日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	2	53	(技)稲岡	
	1 月11日 1 月12日	日赤秋田看護大学	大 学 生	54	12	(技)稲岡(調)柴田(技)佐藤	54
	1 月17日 1 月18日	日赤秋田看護大学	大 学 生	49	12	(技)稲岡(調)佐藤 (調)三浦則・牧野(技)中山	49
	2 月 6 日	東小学校	教 職 員 等	40	1	(調)新野	
	2 月15日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	30	1.5	(技)菅原	
	2 月21日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	40	1.5	(技)稲岡	
	2 月25日	秋田市雄和市民サービスセンター	一 般	36	1	(技)稲岡	
	2 月28日	アルヴェサポーターの会	一 般	23	2	(技)稲岡	
	3 月19日	秋田市赤十字奉仕団上北手分団	奉 仕 団 員	16	1.5	(技)稲岡	
	3 月23日	木曜会（秋田市新屋田尻沢）	奉 仕 団 員 一 般	25	1.5	(技)稲岡	
能 代 市	6 月21日	秋田県長寿社会振興財団	一 般	25	1.5	(技)稲岡	
	11月21日	能代市社会福祉協議会	奉 仕 団 員 一 般	10	3	(技)稲岡	
	3 月 7 日	日赤能代市地区	奉 仕 団 員	42	1.5	(技)稲岡	
	3 月14日	日赤能代市地区	奉 仕 団 員 一 般	42	1.5	(技)稲岡	
横 手 市	7 月19日	横手市赤十字奉仕団横手分団朝倉班	奉 仕 団 員	25	0.5	(技)稲岡	
	11月19日	日赤横手市地区 横手市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	73	1.5	(技)稲岡	
	11月16日	横手市赤十字奉仕団雄物川分団	奉 仕 団 員	33	0.5	(技)稲岡	
	3 月 6 日	横手市赤十字奉仕団雄物川分団	奉 仕 団 員	31	1.5	(技)稲岡	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
横 手 市	3 月15日	横手市赤十字奉仕団十文字分団	奉 仕 団 員	27	1.5	(改)稲岡	
湯 沢 市	8 月17日	秋田県長寿社会振興財団	一 般	21	1.5	(改)稲岡	
鹿 角 市	9 月28日	鹿角市立花輪北小学校PTA	小 学 生 保 護 生 者	72	2	(改)稲岡(調)三浦耐(※)菅原	
由利本荘市	6 月28日	由利本荘市婦人団体連絡協議会	奉 仕 団 員	100	1	(改)稲岡	
	7 月14日	由利本荘市社会福祉協議会 日赤由利本荘市地区	一 般	15	1.5	(改)稲岡	
	8 月28日	由利本荘市社会福祉協議会 日赤由利本荘市地区	一 般	14	1.5	(調)金	
	9 月 5 日	矢島高等学校	高 校 生	10	1.5	(調)佐藤幸	
	9 月21日	日赤由利本荘市地区由利分区分長	奉 仕 団 員 一 般	63	1.5	(改)稲岡	
	9 月26日	由利本荘市社会福祉協議会 日赤由利本荘市地区	一 般	10	1.5	(調)白渡	
	10月 5 日	矢島高等学校	高 校 生	10	1.5	(※)菅原	
	11月11日	由利本荘市ボランティア 実行委員会 「まんまの会」	奉 仕 団 員 一 般	30	1	(改)稲岡	
	11月18日	由利本荘市地区西目分区分	奉 仕 団 員 一 般	61	1	(改)稲岡	
大 仙 市	8 月 3 日	大仙市社会福祉協議会 日赤大仙市地区協和分区分	一 般	14	1.5	(改)稲岡	
	11月20日	大仙市教育委員会協和公民館 協和ボランティア学級	一 般	37	1.5	(改)稲岡	
	12月20日	日赤大仙市地区大曲分区分長	奉 仕 団 員	29	1	(改)稲岡	
	2 月27日	大仙市協和半仙自治会	一 般	57	1.5	(改)稲岡	
北秋田市	4 月25日	北秋田市・上小阿仁村連合婦人会	奉 仕 団 員	120	0.5	(改)稲岡	
	8 月16日	北秋田市民生児童委員協議会	奉 仕 団 員 一 般	20	1	(改)稲岡	
	11月15日	北秋田市阿仁赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	18	1	(改)稲岡	
潟 上 市	8 月 6 日	潟上市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員 一 般	35	1	(改)稲岡	
仙 北 市	8 月31日	仙北市社会福祉協議会	小 学 生	41	1	(※)菅原	
上小阿仁村	5 月10日	上小阿仁村赤十字奉仕団	奉 仕 団 員 一 般	44	1.5	(改)稲岡	
	9 月25日	日赤上小阿仁村分区分	一 般	18	1	(調)三浦則	
藤 里 町	7 月20日	藤里町社会福祉協議会 粕毛第一共栄クラブ	一 般	16	1.5	(調)三浦耐	
三 種 町	10月22日	日赤三種町分区分	奉 仕 団 員 一 般	175	2	(調)佐藤(※)中山・渡辺	
	11月14日	三種町山本赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	26	1	(改)稲岡	
	2 月 8 日	三種町山本・琴丘赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	42	1	(改)稲岡	
八 峰 町	9 月 1 日	八峰町峰浜赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	148	1.5	(改)稲岡	
五城目町	5 月16日	日赤五城目町分区分	奉 仕 団 員 一 般	27	1.5	(改)稲岡	
	8 月29日	日赤五城目町分区分 五城目馬川地区トータル ケアサポート委員会	奉 仕 団 員 一 般	19	1	(改)稲岡	
計	78回			4,071	235		127

(2) 災害時高齢者生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	5 月 19 日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	44	3	(病)三浦則(支)中山
	6 月 22 日	秋田市医師会立秋田看護学校	専 門 学 生	42	1.5	(支)稲岡
	7 月 2 日	秋田市飯島地区社会福祉協議会	一 般	79	0.5	(支)稲岡
	8 月 19 日	秋田市総務部防災安全対策課	一 般	50	2	(支)稲岡
	8 月 23 日	秋田市中央ナイスミドルカレッジ	一 般	50	2	(支)稲岡
	1 月 11 日	栗田支援学校	一 般	90	1	(支)菅原
能 代 市	11 月 21 日	能代市社会福祉協議会	奉 仕 団 員 一 般	10	1	(支)稲岡
	12 月 19 日	能代東中学校	中学生・教員 地 域 住 民	161	2	(支)稲岡(病)遠藤(支)中山
	3 月 12 日	能代市二ツ井町赤十字奉仕団 仁鮎・田代分団	奉仕団員・一般	40	2	(支)稲岡(支)菅原
横 手 市	4 月 19 日	衛生看護学院	大 学 ・ 専 門	38	2	(支)稲岡
	7 月 19 日	横手市赤十字奉仕団横手分団朝倉班	奉 仕 団 員	25	1	(支)稲岡
大 館 市	9 月 3 日	大館市	一 般	113	1	(支)稲岡(病)鳴海
湯 沢 市	6 月 14 日	湯沢翔北高等学校	専 攻 科 学 生	28	2	(支)稲岡
にかほ市	3 月 8 日	にかほ市社会福祉協議会	奉仕団員・一般	57	1.5	(支)稲岡
仙 北 市	5 月 20 日	秋田県障害者通所施設協議会	一 般	32	1.5	(支)稲岡
三 種 町	5 月 25 日	三種町琴丘赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	25	1	(支)碓谷
計	16回			884	25	

※健康生活支援講習全体で、94回、受講者数4,955人、講習時間260時間であった。

※指導員欄の（支）は支部職員、（病）は赤十字病院職員、（血）は血液センター職員、（看）は日赤看護大職員、（短）は日赤短大職員、（ボ）はボランティア指導員を表す。

※支援員とは支援員養成講習（12時間）を修了し、検定の結果、合格に達したものに与える資格である。

(3) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日	2 月 17 日
会 場	秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室
参加者数	28 人
研修内容	・平成28年度の講習実施状況 ・講師研修会からの伝達事項 ・平成29年度日赤秋田県支部の講習普及の取組みについて ・各指導員からの情報伝達

4. 幼児安全法

子どもの成長・発達を理解し、子どもに起こりやすい事故に対する応急手当の方法と、事故防止、家庭内での看護の方法を指導する幼児安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	4 月 1 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	6	1	(乳)根田	
	5 月 28 日	日赤秋田県支部	子 ども 保 護 者	232	6	(※)柴田・畠山 (病)一関・白鳥	
	6 月 6 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	0.5	(乳)根田・水澤	
	6 月 7 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	8	0.5	(乳)根田・水澤	
	6 月 8 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	1	0.5	(乳)根田・水澤	
	6 月 9 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)根田・水澤	
	6 月 22 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	0.5	(乳)根田・水澤	
	6 月 24 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	15	0.5	(乳)根田・水澤	
	6 月 29 日	北保育園	保 育 士	7	1.5	(支)佐々木	
	6 月 30 日	秋田大学教育文化学部付 属小学校 P T A	小 学 生	100	0.5	(※)伊藤	
	7 月 18 日	秋田市明德地区児童委員 このゆびとまれ	保 護 者	11	1	(支)稲岡	
	7 月 25 日	北保育園	保 育 士	6	1.5	(支)佐々木	
	8 月 6 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	0.5	(乳)根田・水澤	
	8 月 7 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	0.5	(乳)根田・水澤	
	8 月 8 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	0.5	(乳)根田・水澤	
	8 月 8 日	あきた中央保育園	保 育 士	12	1	(※)伊藤	
	8 月 9 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	0.5	(乳)根田・水澤	
	8 月 22 日	秋田市北部市民サービスセンター	保 護 者	15	1.5	(支)稲岡	
	9 月 9 日	秋田県・日赤秋田県支部	一 般	31	7	(※)松渕	
	9 月 10 日	秋田県・日赤秋田県支部	一 般	17	7	(※)松渕	
	9 月 11 日	秋田県・日赤秋田県支部	一 般	7	6	(※)松渕	
	9 月 13 日	鉄道弘済会秋田保育所	保 育 士	11	1.5	(支)佐々木	
	9 月 14 日	鉄道弘済会秋田保育所	保 育 士	10	1.5	(支)佐々木	
	9 月 30 日 10 月 1 日	日赤秋田県支部	一 般	13	12	(支)稲岡(病)小玉(乳)水澤	13
	10 月 6 日	秋田駅東保育園	保 育 士	9	1.5	(支)稲岡	
	10 月 11 日	あきた保育園	保 育 士	12	1.5	(支)稲岡	
	11 月 22 日	秋田市保育協議会・保健部会	看 護 師 保 育 士	48	2	(支)稲岡	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	11月28日	はねかわ保育所	保 育 士	13	1.5	(支)佐々木	
	12月 1 日	秋田駅東保育園	保 育 士	7	1.5	(支)稲岡	
	12月 4 日 12月 5 日	日赤秋田短期大学	大 学 生	14	12	(支)稲岡 (乳)根田・水澤	14
	1 月14日	日赤秋田県支部	高 校 生	17	3	(支)稲岡(※)菅原	
	1 月16日	あきた中央保育園	保 育 士	14	1	(※)伊藤	
	1 月30日	白百合保育園	保 育 士	20	1.5	(支)稲岡	
	1 月31日	白百合保育園	保 育 士	19	1.5	(支)稲岡	
	2 月 1 日	こひつじ保育園	保 育 士	11	1.5	(支)稲岡	
	2 月 2 日	こひつじ保育園	保 育 士	11	1.5	(支)稲岡	
	2 月 5 日 2 月 6 日	日赤秋田看護大学	大 学 生	53	12	(支)稲岡(病)児玉 (乳)水澤(※)菅原	52
	2 月14日 2 月15日	日赤秋田看護大学	大 学 生	55	12	(支)碓谷(病)船木 (乳)根田(※)菅原	55
	2 月19日	下北手地区児童委員とん とんクラブ	一 般	8	1	(支)稲岡	
	2 月22日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	7	1	(乳)保坂・根田・水澤	
	2 月24日	白百合保育園保護者会	一 般	63	1	(支)稲岡	
	2 月26日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	1	(乳)保坂・根田・水澤	
	2 月27日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	10	1	(乳)保坂・根田・水澤	
	3 月 5 日	かわぐち保育園	保 育 士	10	1	(支)佐々木	
	3 月 8 日	エンジェルハウスかつひ ら	保 育 士	5	1	(支)佐々木	
	3 月11日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	0.5	(乳)保坂・根田・水澤	
	3 月13日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	0.5	(乳)保坂・根田・水澤	
	3 月14日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	0.5	(乳)保坂・根田・水澤	
	3 月19日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	0.5	(乳)保坂・根田・水澤	
能 代 市	6 月26日	日赤能代市地区	保 育 士	30	1.5	(支)佐々木(※)柴田	
	7 月27日	能代市第四保育所	保 育 士	11	1.5	(支)稲岡	
横 手 市	4 月19日	衛生看護学院	専 門 学 生	38	1	(支)稲岡	
由利本荘市	7 月26日	由利高等学校	高 校 生	2	3	(支)佐々木(※)佐々木弘	
大 仙 市	1 月26日	協和保育園	保 護 者	90	0.5	(支)佐々木	
	1 月26日	協和保育園	保 育 士	18	1.5	(支)佐々木	
湯 沢 市	8 月31日	三関小学校	教 職 員	10	1	(支)須藤	
潟 上 市	7 月13日	潟上市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員 一 般	35	1	(支)稲岡	
鹿 角 市	9 月28日	花輪北小学校	全 校 児 童 教職員・保護者	250	1	(支)稲岡	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
仙 北 市	5 月 23 日	仙北市保健課	一 保 健 一般師	16	1	(支)稲岡	
	10月26日	仙北市保健課	一 保 健 一般師	9	1	(乳)根田	
	3 月 2 日	仙北市保健課	一 保 健 一般師	5	1	(乳)根田	
上小阿仁村	11月16日	日赤上小阿仁村分区	一 般	6	1	(支)佐々木	
八 峰 町	9 月 5 日	八峰町子育て支援センター あいあい	一 般	10	1.5	(支)佐々木	
大 湯 村	6 月 21 日	日赤大湯村分区	保 護 者	24	1.5	(支)佐々木	
	8 月 2 日	日赤大湯村分区	保 育 士	16	2	(支)稲岡	
計	65回			1,513	138		134

※指導員欄の（支）は支部職員、（病）は赤十字病院職員、（乳）は赤十字乳児職員、（ボ）はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は支援員養成講習（12時間）を終了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第 8 条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 5 月 13 日

会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室

参加者数 18 人

- 平成28年度の講習実施状況
- 講師研修会からの伝達事項
- 平成29年度日赤秋田県支部の講習普及の取組みについて
- 実技の確認

5. 水上安全法

水を活用して健康の増進を図り、水の事故から生命を守るための知識や技術を指導する水上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	6 月 19 日	向浜スポーツゾーン総合事務所	監 視 員	16	2	(支)佐々木 (ボ)畠山邦・三森	
	7 月 1 日	向浜スポーツゾーン総合事務所	一 般	16	1.5	(病)竹澤(ボ)藤田ま	
	7 月 21 日 ～ 23 日	日赤秋田県支部 赤十字水上安全法奉仕団	一 般	9	14	※別記 1	7
	8 月 25 日	秋田赤十字乳児院	職 員	15	0.5	(支)佐々木	
能 代 市	7 月 14 日	第五小学校	小 学 生	57	1.5	(ボ)伊藤三・大塚・秋山	
由利本荘市	9 月 1 日	由利本荘市教育委員会	小 学 生	60	1	(支)佐々木・松橋 (ボ)伊藤三・大塚	
	9 月 4 日	岩谷小学校	小 学 生	81	1	(支)佐々木(ボ)三森・伊藤三・大塚	
	9 月 4 日	岩谷小学校	小 学 生	97	1	(支)佐々木(ボ)三森・伊藤三・大塚	
北秋田市	7 月 8 日	日赤北秋田市地区	監 視 員	22	1	(ボ)成田・長内・大塚	
	7 月 18 日	綴子小学校	小 学 生	35	1	(支)佐々木・松橋(ボ)成田	
	7 月 18 日	綴子小学校	小 学 生	35	1	(支)佐々木・松橋(ボ)成田	
	7 月 18 日	綴子小学校	小 学 生	37	1	(支)佐々木・松橋(ボ)成田	
にかほ市	7 月 6 日	にかほ市教育委員会	監 視 員	10	2	(支)佐々木	
三 種 町	7 月 20 日	琴丘小学校	小 学 生	84	1.5	(ボ)佐藤勇・大塚・伊藤三・藤田ま	
	7 月 20 日	森岳小学校	小 学 生	23	1	(ボ)佐藤勇・大塚	
八 峰 町	9 月 7 日	八森小学校	小 学 校	67	1	(病)竹澤(ボ)佐藤勇・大塚・秋山里	
	9 月 7 日	八森小学校	小 学 校	58	1	(病)竹澤(ボ)佐藤勇・大塚・秋山里	
大 潟 村	6 月 12 日	日赤大潟村分区	一般・監視員	8	1.5	(ボ)佐藤勇・大塚	
羽 後 町	7 月 3 日	羽後明成小学校	小 学 生	47	1	(ボ)伊藤三・大塚・藤田ま	
	7 月 5 日	羽後中学校	中 学 生	117	1	(支)高橋真・松橋(ボ)畠山邦・大塚	
計	20回			894	36.5		7

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習(14 時間)を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

※別記 1 (病) 竹澤・伊藤衣 (ボ) 畠山邦・佐藤勇・三森・糸屋幸・今井・長内・齊藤幸・成田・大塚・伊藤三・藤田ま・新山

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

第1回目

期 日	4月22日
会 場	秋田県社会福祉会館 2階展示ホール
参加者数	16人
研修内容	・講習普及方針について ・熊本地震災害救護活動報告 ・東ティモール赤十字社救急法普及支援事業派遣報告 ・グループワーク「平成28年度の講習普及状況と課題」

第2回目

期 日	6月3日
会 場	秋田県立総合プール
参加者数	14人
研修内容	・救急法基礎講習の実技指導内容の確認 ・救助員養成講習の実技指導内容の確認

6. 雪上安全法

スキーなどを安全に行うための応急手当を含めた具体的な知識や技術を指導する雪上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	2月25日	日赤秋田看護大学・短期大学	大 学 生	16	7	(病)竹澤	15
計		1回		16	7		15

※指導員欄の(病)は赤十字病院職員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習(7時間)を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

7. 資格継続研修

平成21年度から制度化された赤十字救急法救急員等の資格継続研修を次のとおり実施した。

講 習 名	期 日	受講者数（人）	資格継続者数（人）
救 急 法	6 月 2 日	12	12
	12月18日	20	20
	12月23日	4	4
	1 月27日	49	49
健康生活支援講習	3 月 3 日	7	7
水 上 安 全 法	2 月 3 日	11	11
幼 児 安 全 法	1 月14日	9	9
計		112	112

8. 救急法等指導員登録状況

（平成30年 3 月31日現在）

講 習 別	人 数 （人）		
	職員指導員	ボランティア指導員	計
救 急 法	37	61	98
健 康 生 活 支 援 講 習	26	9	35
水 上 安 全 法	5	28	33
幼 児 安 全 法	13	7	20
雪 上 安 全 法	1	0	1
計	82	105	187

8. 赤十字奉仕団等

1. 組織状況

(平成30年3月31日現在)

奉仕団名		団数(団)	団員数(人)		
			男	女	計
地域奉仕団		53	6,645	17,074	23,719
特別奉仕団	青年奉仕団	5	44	115	159
	秋田県点訳赤十字奉仕団	1	2	6	8
	秋田県赤十字芸能奉仕団	1	12	60	72
	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	1	32	2	34
	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	1	20	10	30
	秋田県赤十字救急法奉仕団	1	36	25	61
	秋田県赤十字災害救護奉仕団	1	9	2	11
	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	1	105	23	128
	特殊奉仕団 計	7	216	128	344
合 計		65	6,905	17,317	24,222

(1) 地域赤十字奉仕団

(平成30年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団数 (団)	班数 (班)	団員数(人)		
					男	女	計
秋田市赤十字奉仕団	S23.11.20	高橋 知子	15	0	0	250	250
秋田市雄和赤十字奉仕団	S32.3.26	鈴木 一枝	0	0	0	60	60
能代市赤十字奉仕団	S34.4.1	小栗 將子	20	72	10	502	512
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	S44.7.5	齊藤 正子	7	0	4	167	171
横手市赤十字奉仕団	S45.4.1	小棚木 美和子	8	119	23	2,358	2,381
大館市大館赤十字奉仕団	S33.9.17	櫻田 玲子	10	104	4	1,596	1,600
大館市比内赤十字奉仕団	S35.6.24	高松 愛子	4	0	0	706	706
大館市田代赤十字奉仕団	S36.6.1	佐藤 かよ子	12	0	15	234	249
男鹿市赤十字奉仕団	S40.4.1	吉田 萬里子	7	14	0	269	269
湯沢市赤十字奉仕団	S29.4.1	北村 ルミ子	4	0	0	397	397
鹿角市赤十字奉仕団	S27.6.1	佐藤 志保子	3	31	0	329	329
由利本荘市本荘赤十字奉仕団	S37.4.1	畠山 恵美子	4	0	0	17	17
由利本荘市岩城赤十字奉仕団	S48.4.1	鈴木 とみ子	2	0	0	70	70

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
由利本荘市大内赤十字奉仕団	S 48.12. 1	大 友 紀 子	1	0	0	115	115
由利本荘市東由利赤十字奉仕団	S 38. 4.25	阿 部 タツ子	6	0	0	37	37
由利本荘市島海赤十字奉仕団	S 33. 5.31	三 森 ハ マ	3	0	0	66	66
由利本荘市矢島赤十字奉仕団	S 33. 6.18	土 田 典 子	1	0	0	40	40
由利本荘市由利赤十字奉仕団	S 32. 4. 1	庄 司 和 子	0	0	16	11	27
由利本荘市西目赤十字奉仕団	S 45.10. 1	長 根 サカエ	4	4	0	117	117
潟 上 市 赤 十 字 奉 仕 団	H17. 3.22	小 玉 喜久子	3	57	0	1,100	1,100
大仙市大曲赤十字奉仕団	S 43. 4. 1	森 川 クミ子	7	0	5351	2,294	7,645
大仙市仙北赤十字奉仕団	S 33. 5.15	熊 谷 政 子	1	63	0	172	172
大仙市中仙赤十字奉仕団	S 30. 3.31	高 橋 トモ子	6	0	0	385	385
大仙市太田赤十字奉仕団	S 30. 3.30	高 橋 千恵子	3	0	0	75	75
大仙市西仙北赤十字奉仕団	S 37. 4. 1	寺 田 要 子	9	180	13	163	176
大仙市神岡赤十字奉仕団	S 34. 4. 1	齊 藤 レ ッ	0	0	0	25	25
大仙市協和赤十字奉仕団	S 33. 8. 2	佐 藤 けい子	0	0	1	124	125
大仙市南外赤十字奉仕団	S 45. 4. 1	高 橋 妊 子	1	42	9	74	83
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	S 26. 5. 1	中 嶋 洋 子	8	0	0	969	969
北秋田市森吉赤十字奉仕団	S 37. 4. 1	北 林 カ ヅ	29	29	0	420	420
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	S 33.12. 2	佐々木 敬 子	16	75	0	249	249
北秋田市合川赤十字奉仕団	S 30. 4. 1	三 浦 浩 子	15	105	0	467	467
にかほ市金浦赤十字奉仕団	S 62. 6. 2	佐 藤 鮎 子	0	0	0	54	54
にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	S 62.11.27	村 上 和 美	0	25	0	111	111
にかほ市象潟赤十字奉仕団	S 53. 6. 1	阿 曾 綾 子	0	0	0	13	13
仙北市角館町赤十字奉仕団	S 32. 4. 1	赤 川 和 子	4	179	349	318	667
仙北市田沢湖赤十字奉仕団	S 33. 4. 1	佐 藤 リ ヨ	3	0	30	94	124
仙北市西木町赤十字奉仕団	S 33. 4.25	門 脇 トキヨ	1	0	0	15	15
小 坂 町 赤 十 字 奉 仕 団	S 32. 4. 1	宮 崎 幸 子	1	5	1	18	19
上小阿仁村赤十字奉仕団	S 23. 4. 1	伊 藤 明 美	19	21	28	390	418
藤 里 町 赤 十 字 奉 仕 団	S 23. 4. 1	淡 路 高 江	4	0	0	340	340
三種町琴丘赤十字奉仕団	S 55. 3.23	畠 山 邦 子	0	0	42	127	169

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
三種町八竜赤十字奉仕団	S34. 4. 1	堀 田 キミ子	5	7	0	70	70
八峰町八森赤十字奉仕団	S48. 5. 1	堀 内 澄 子	3	0	0	124	124
八峰町峰浜赤十字奉仕団	S43. 4. 1	武 田 えみ子	0	0	0	53	53
五城目町赤十字奉仕団	S23. 4. 26	工 藤 佳	3	3	0	78	78
八郎潟町赤十字奉仕団	S45. 7. 1	佐 藤 操	0	0	0	73	73
井川町赤十字奉仕団	S30. 2. 1	伊 藤 律 子	18	0	0	309	309
大潟村赤十字奉仕団	S44.11. 1	阿 部 和 子	1	6	0	44	44
美郷町赤十字奉仕団	H16.11. 1	森 元 博 美	3	120	92	259	351
羽後町赤十字奉仕団	S33. 9. 1	村 上 與 子	7	65	340	288	628
東成瀬村赤十字奉仕団	S33. 7. 30	鈴 木 キミコ	14	89	309	320	629
計	53 団		296	1,523	6,645	17,074	23,719

(2) 青年赤十字奉仕団

(平成30年 3 月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	副委員長氏名	団 員 数 (人)		
				男	女	計
秋田県青年赤十字奉仕団	S38. 4. 1	三 浦 泰 輔	佐々木 恵 子	8	12	20
日赤秋田看護大・短大 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H 8.11.29	佐々木 琉 瑠	大 澤 なな子	0	47	47
ノースアジア大学厚生委員会 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H13. 4. 26	加 藤 僚	花 塚 由 希 高 橋 司	28	16	44
秋 田 県 立 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H18. 6. 1	浅 内 由 佳	金 崎 美 奈	3	33	36
秋 田 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H27 .4.26	黒 澤 貴 紀	松 岡 功	5	7	12
計	5 団			44	115	159

(3) 特殊赤十字奉仕団

(平成30年 3 月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	副委員長氏名	団 員 数 (人)		
				男	女	計
秋田県点訳赤十字奉仕団	S 41. 11. 1	鈴 木 敦 子	吉 田 圭 子	2	6	8
秋田県赤十字芸能奉仕団	S 42. 5. 4	小 野 敏実都	中 村 久 夫 石 塚 喜 奈	12	60	72
秋 田 県 ア マ チ ュ ア 無 線 赤 十 字 奉 仕 団	S 46. 12. 19	石 川 和 男	相 沢 喜 弥	32	2	34
秋 田 県 赤 十 字 水 上 安 全 法 奉 仕 団	S 53. 6. 10	畠 山 邦 男	銭 谷 郁 雄 小 柳 祐太郎	20	10	30
秋 田 県 赤 十 字 救 急 法 奉 仕 団	S 60. 6. 28	田 口 昇	佐々木 清 志 長 内 昭 継 竹 内 健 司	36	25	61
秋 田 県 赤 十 字 災 害 救 護 奉 仕 団	H 11. 8. 28	八 代 千 春	竹 内 健 司	9	2	11
秋 田 県 青 少 年 赤 十 字 賛 助 奉 仕 団	H 15. 4. 1	眞井田 恭 雄	柴 田 正 臣 伊 藤 勲 山 信 田 齊	105	23	128
計	7 団			216	128	344

2. 会議・研修会等

(1) 赤十字奉仕団 秋田県支部委員会

期 日 4 月12日

会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室

出席者数 22人

内 容 ①平成28年度赤十字奉仕団活動状況について
②役員改選について

委 員 長 1 人

副委員長 4 人

(2) 赤十字奉仕団委員長会議

期 日 4 月12日

会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室

出席者数 58人（地域奉52人・特奉 6 人）

内 容 DVD 上映「赤十字この 1 年」

①秋田県支部委員会報告

②平成28年度事業概要報告

③血液事業について

④平成29年度事業計画

⑤その他

(3) 赤十字奉仕団中央委員会

期 日 6月1日～2日

会 場 日本赤十字社

出席者 支部委員会委員長 小玉 喜久子

(4) 赤十字ボランティア・リーダー研修会

期 日 8月26日～28日

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

出席者 能代市二ツ井町赤十字奉仕団委員長 齊藤 正子
秋田県立大学学生赤十字奉仕団員 長田 伸

(5) 赤十字奉仕団第1ブロック委員長会議及び第1ブロック奉仕団担当者的会議

期 日 9月19日～20日

会 場 日赤福島県支部 ほか

出席者 支部委員会委員長 小玉 喜久子
支部担当者 1人

(6) 支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」への参加

期 日 11月7日

場 所 秋田県民会館

参加者 947人

内訳 ・地域奉仕団員 894人
・特別奉仕団員 53人

3. 活動状況等

(1) 地域奉仕団

ア. 市地区並びに町村分区ごとに組織している地域奉仕団は、それぞれの地域のニーズに応じて、主として次の事業に奉仕した。

・赤十字会員増強運動並びに活動資金収納に関する奉仕

- ・献血推進事業に関する奉仕
- ・災害救護業務に関する奉仕
- ・社会福祉施設での奉仕
- ・老人家庭での奉仕
- ・その他社会福祉に関する奉仕

イ. その他特色ある活動

1) 赤十字奉仕団北秋田地区大会

期 日 4月25日
 会 場 合川公民館
 出席者 北秋田地区赤十字奉仕団 120名
 内 容 ①奉仕団活動状況報告（北秋田市合川赤十字奉仕団）
 ②健康生活支援講習「健康寿命を延ばす生活習慣について」

2) 仙北市田沢湖赤十字奉仕団総会

期 日 6月27日
 会 場 田沢湖総合開発センター
 出席者 仙北市田沢湖赤十字奉仕団 35人
 内 容 ①DVD上映「赤十字この一年」
 ②奉仕団活動状況報告
 ③体験発表「介護・介護用品の工夫」 団員 畠山 玲子

3) 日赤大仙市地区研修会

期 日 7月7日
 会 場 中仙農村環境改善センター
 参加者 大仙市地区赤十字奉仕団 53人
 大船渡市赤十字奉仕団 13人
 大船渡市民（被災者代表）6人
 日赤秋田県支部 1人
 内 容 ①非常炊き出し
 ②岩手県大船渡市赤十字奉仕団体験発表
 ③講話「赤十字と私」

4) 能代市・八峰町赤十字奉仕団交流研修会

期 日 9月1日

会 場 八峰町文化交流施設ファガス

参 加 者 八峰町峰浜赤十字奉仕団 28人
 八峰町八森赤十字奉仕団 21人
 能代市赤十字奉仕団 54人
 能代市二ツ井町赤十字奉仕団 39人
 支部指導講師 1人
 地区・分区職員 4人
 日赤秋田県支部 2人

内 容 ①DVD上映「赤十字この一年」
 ②講話「赤十字のこと あれこれ」
 ③健康生活支援講習
 「地域で支える認知症～私たちができること～」
 ④交流レクリエーション

ウ. 施設見学等

1) 赤十字関係団体

期 日	奉 仕 団 名	人員	見 学 施 設 ・ 内 容
8月16日	北秋田市森吉赤十字奉仕団 (北秋田市森吉民生委員児童委員協議会)	20	日赤秋田県支部・救援物資倉庫等見学 赤十字健康生活支援講習 日赤秋田看護大学短期大学見学
9月22日	にかほ市象潟赤十字奉仕団	13	秋田赤十字乳児院見学 ドクターヘリ見学 日赤秋田看護大学・短期大学見学
11月15日	北秋田市阿仁赤十字奉仕団	18	日赤秋田県支部・救援物資倉庫等見学 赤十字健康生活支援講習 日赤秋田看護大学・短期大学見学
11月16日	横手市赤十字奉仕団雄物川分団	33	日赤秋田県支部・救援物資倉庫等見学 赤十字健康生活支援講習 日赤秋田看護大学・短期大学見学
11月17日	由利本荘市東由利赤十字奉仕団	16	秋田赤十字乳児院見学 日赤秋田看護大学・短期大学見学
11月20日	八峰町八森赤十字奉仕団	17	秋田赤十字乳児院見学
12月20日	大仙市大曲赤十字奉仕団	29	日赤秋田県支部・救援物資倉庫等見学 赤十字健康生活支援講習 日赤秋田看護大学・短期大学見学 ドクターヘリ見学
2月8日	三種町山本・琴丘赤十字奉仕団	42	日赤秋田県支部・救援物資倉庫等見学 赤十字健康生活支援講習 日赤秋田看護大学・短期大学見学
計		188	

2) 赤十字関係団体以外

期 日	団 体 名	人員	見 学 施 設 ・ 内 容
8 月 29 日	五城目町社会福祉協議会 五城目町馬川地区トータルケア委員会	19	日赤秋田県支部・救援物資倉庫等見学 赤十字健康生活支援講習 ドクターヘリ見学
計		19	

エ. ねんりんピック秋田2017でのボランティア活動

1) 「赤十字まめだす体験広場」での赤十字健康生活支援講習の実施

(秋田県との共催)

期 日	9 月 9 日～11日		
会 場	秋田市にぎわい交流館 A U		
参 加 者	秋田市赤十字奉仕団	29人	
受講者数	9 月 9 日～11日	705人	
実施内容	健康生活支援講習 「リラクゼーション」「ハンドケア」		

2) 歓迎案内のボランティア活動（秋田県からの依頼）

期 日	奉 仕 団 名	人員	活 動 場 所 等
9 月 8 日 9 月 12 日	秋田市雄和赤十字奉仕団	11	秋田空港 (※大正寺おけさで歓迎)
9 月 8 日	仙北市西木赤十字奉仕団 仙北市田沢湖赤十字奉仕団	5 5	田沢湖駅
9 月 8 日	大仙市大曲赤十字奉仕団 大仙市中仙赤十字奉仕団	2 3	大曲駅
9 月 8 日	北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	9	大館能代空港
9 月 12 日	秋田市赤十字奉仕団	20	秋田駅
計		55	

(2) 青年奉仕団

勤労青年や大学生等によって組織している青年奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 青年奉仕団全国協議会への参加

期 日	4 月 22 日～23 日		
会 場	日本赤十字社 本社		
参 加 者	秋田県立大学学生赤十字奉仕団	委員長	浅内 由佳

内 容 協議「青年奉仕団の連携強化について」
「青年奉仕団員の募集方法について」
「青年奉仕団員の定着方法について」

イ. 青年奉仕団第1ブロック協議会への参加

期 日 5月27日～28日
会 場 日赤北海道支部
参 加 者 秋田県立大学学生赤十字奉仕団 委員長 浅内 由佳
内 容 協議「全国協議会参加報告について」
「第1ブロック協議会統一キャンペーンの実施について」
「各支部提出の協議事項・照会事項について」

ウ. 赤十字ボランティア・リーダー養成研修会への参加

期 日 8月26日～28日
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
参 加 者 秋田県立学生赤十字奉仕団 長田 尚之
内 容 ・リーダーシップ論
・赤十字マインドのブラッシュアップ
・防災・減災にかかる奉仕団活動
・活動計画書の作成

エ. 青年奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン「被災地での被災者支援活動」への参加

期 日 ①8月28日～29日 ②9月7日～8日
会 場 ①会津若松市一箕町長原仮設住宅 集会場 ②会津若松市文化センター
参 加 者 ①3人 ②4人
内 容 ・レクリエーション活動等

オ. 支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」

期 日 11月7日
会 場 秋田県民会館
参 加 者 秋田県青年赤十字奉仕団 委員長 三浦 泰輔

カ. 団員研修会

期 日	12月9日
会 場	秋田市 にぎわい交流館 AU
参 加 者	32人
内 容	・赤十字クイズ ・青年奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン(被災地での被災者支援)参加報告 ・赤十字ボランティア・リーダー養成研修会参加報告 ・点字講習 ・赤十字7原則セミナー ・防災に関するワークショップ ・赤十字救急法

キ. 赤十字7原則に関するセミナーへの参加

期 日	3月2日～6日
会 場	日本赤十字社 本社
参 加 者	秋田大学学生赤十字奉仕団 委員長 黒澤 貴紀
内 容	赤十字7原則について ・ピア・エデュケーションについて ・アクティビティの実践について ・コミュニケーションについて ・アートパフォーマンスについて

ク. 青年奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン「東日本大震災義援金募金活動」

期 日	3月10日
場 所	秋田駅前ぽぽろード
参 加 者	6人

ケ. リーダーシップ研修会

期 日	3月28日
会 場	日赤秋田県支部
参 加 者	6人

- 内 容
- ・赤十字マークをつくろう
 - ・赤十字について
 - ・リーダーの心得
 - ・活動計画を立てよう
 - ・青年奉仕団の一年について

コ. その他

- ・定例会の実施
- ・赤十字運動月間イベントへの参加
- ・会員増強運動に係る資材の梱包作業実施
- ・学生献血キャンペーン

(3) 特殊奉仕団

1) 点訳奉仕団

点訳技術の取得者によって組織している点訳奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字秋田の点訳

日赤秋田県支部が発行する広報誌「赤十字秋田」を点訳し、点字図書館などで配布した。また、弱視の方が見やすいよう拡大複写し、視覚障害者協会を通じて配布した。

イ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月12日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 鈴木 敦子

ウ. 赤十字キッズタウン2017

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、点字体験コーナーを設けた。

期 日 5月28日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
参 加 者 2人
対 象 一般参加者

エ. 支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」

期 日 11月7日
場 所 秋田県民会館
参 加 者 4人

オ. 青年赤十字奉仕団団員研修会への協力

秋田県青年赤十字奉仕団連絡協議会が主催した研修会のプログラムとして点字講習を実施した。

期 日 12月9日
会 場 秋田市 にぎわい交流館 AU
参 加 者 3人
対 象 青年奉仕団員 32人

2) 芸能奉仕団

県内在住の芸能人等によって組織している芸能奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月12日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 小野 敏実都

イ. 新屋地区いきいきふれあい交流会アトラクション

期 日 6月17日
会 場 西部市民サービスセンター（ウエスター）
奉仕人員 11人

ウ. 第50回愛の芸能祭

期 日 6月25日
会 場 秋田県民会館
奉仕人員 全 員

※チケット売上金の一部を、日赤秋田県支部に寄贈

エ. 大内町年金友の会アトラクション

期 日 8月22日
会 場 大内農村環境改善センター
奉仕人員 18人

オ. 由利本荘市戦没者遺族地方大会アトラクション

期 日 8月25日
会 場 由利本荘市カダーレ
奉仕人員 23人

カ. 土崎病院なぎさ会館アトラクション

期 日 9月3日
会 場 なぎさ会館
奉仕人員 13人

キ. 相染地区敬老会アトラクション

期 日 9月18日
会 場 港北児童センター
奉仕人員 8人

ク. 支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」

期 日 11月7日
会 場 秋田県民会館
参 加 者 15人

ケ. 赤十字防災ボランティア研修会への参加

期 日 1月20日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 5人

3) アマチュア無線奉仕団

災害時、有線及び携帯による通信が途絶えたとき、アマチュア無線の持つ機動性を活かして奉仕するため、有資格者によって組織しているアマチュア無線奉仕団の活動内容は次のとおりである。

ア．団員相互の通信訓練（感度交換）を随時実施した。

イ．他支部のアマチュア無線奉仕団員との通信訓練（感度交換）を以下のとおり実施した。

期 日	時 間	通 信 先 奉 仕 団 名
4月17日	13：30～14：30	兵庫県無線赤十字奉仕団
5月21日	9：00～12：00	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団
5月28日	9：00～11：00	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
7月23日	9：30～10：30 15：00～16：00	北海道無線赤十字奉仕団協議会
7月23日	9：00～10：00	日本赤十字社福島県防災支援奉仕団連絡協議会
8月27日	9：00～11：00	日本赤十字社栃木県支部アマチュア無線奉仕団
9月 3日	10：00～11：30	石川県無線赤十字奉仕団
9月10日	10：00～12：00	岩手県アマチュア無線赤十字奉仕団
9月30日	9：30～11：00	富山県アマチュア無線赤十字奉仕団
10月15日	10：30～12：00	兵庫県無線赤十字奉仕団
10月22日	9：30～10：30	長岡アマチュア無線赤十字奉仕団
10月22日	10：00～14：00	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
10月28日 10月29日	15：00～20：00 7：00～9：00	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
11月11日	10：00～11：00	日赤茨城県支部無線赤十字奉仕団
11月 3日	9：30～11：30	宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団
12月 9日	9：00～11：00	日本赤十字社栃木県支部アマチュア無線奉仕団
1月12日	9：00～11：30	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団
1月21日	10：00～11：00	愛知県赤十字無線奉仕団
1月21日	10：00～11：30	大阪赤十字機動救助奉仕団
2月24日	10：00～12：00	山梨県無線赤十字奉仕団
3月24日	14：00～15：30	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
計		21回 ・ 22日

ウ. ファミリー電波教室に協力

小学生や父兄に電波への関心を持ってもらうため、秋田県電波適正利用推進員協議会が主催する「ファミリー電波教室」に参加した。

エ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月12日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 石川 和男

オ. 秋田県総合防災訓練への参加

県が主催する災害救護訓練に参加し、通信訓練を実施した。

期 日 9月3日
場 所 大館市役所
参 加 者 石川 和男

カ. 支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」

期 日 11月7日
場 所 秋田県民会館
参 加 者 5人

4) 水上安全法奉仕団

ア. 奉仕団主催講習会の実施

①支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、支部との共催で講習会を企画した。

期 日 7月21日・22日・23日
会 場 秋田県立総合プール
内 容 基礎講習＋救助員Ⅰ養成講習
受 講 者 9人
指 導 員 12人

②「まるごと J R C 体験 in 羽後中」と称して中学校の青少年赤十字交流活動に寄与した。

赤十字講習をはじめ、炊き出しや日赤の災害救護活動の講話など、人道について学ぶ体験プログラムを実施した。

期 日	7 月 5 日
会 場	羽後町立羽後中学校
内 容	着衣泳・B L S・炊き出し・赤十字災害救護活動の講話
受 講 者	中学生117人
指 導 員	2 人

イ．赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日	4 月12日
会 場	秋田県社会福祉会館
参 加 者	委員長 畠山 邦男

ウ．総会の実施

期 日	4 月23日
会 場	秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室
参 加 者	12人

エ．赤十字キッズタウン2017

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日	5 月28日
会 場	日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容	支部（災害救護・講習）仕事体験コーナーの案内
参 加 者	1 名

オ．ねんりんピック秋田2017水泳交流大会

秋田県で開催された全国健康福祉祭「ねんりんピック秋田 2017」における水泳交流大会の監視員として団員を派遣した。

期 日	9 月 9 日～11日
-----	-------------

会 場 秋田県立総合プール
内 容 公式練習・競技中におけるプール監視
参 加 者 5 人

カ. 支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」

期 日 11月 7 日
場 所 秋田県民会館
参 加 者 8 名
そ の 他 大会式典・講演会の司会を伊藤三恵指導員が務めた。

キ. 防災ボランティア研修会への参加

奉仕団員としての資質向上と防災ボランティアの強化、各奉仕団間の連携を目的に日赤支部が開催した研修会に参加した。

期 日 3 月25日
会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室
参 加 者 2 人

ク. 役員会の実施

期 日 3 月10日
会 場 秋田県社会福祉会館 3 階日赤研修室
出 席 者 6 人

5) 救急法奉仕団

ア. 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、奉仕団で主催し講習会を企画した。

①中央地区（秋田会場）

期 日 6 月24日・7 月 1 日・2 日
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 基礎講習＋救急員養成講習
受 講 者 基礎：12人 救急員養成：12人
指 導 員 16人

②県北地区（能代会場）

期 日 10月1日・11月3日・4日・5日
会 場 能代ふれあいプラザ サンピノ
内 容 基礎講習＋救急員養成講習
受 講 者 基礎：17人 救急員養成：11人
指 導 員 19人

③県南地区（横手会場）

期 日 11月18日・19日・23日
会 場 横手市交流センターY2プラザ
内 容 基礎講習＋救急員養成講習
受 講 者 基礎：5人 救急員養成：4人
指 導 員 14人

イ．赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月12日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 田口 昇

ウ．総会の実施

期 日 4月23日
会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
参 加 者 20人

エ．地区研修会

①中央地区

期 日 6月24日
会 場 秋田県社会福祉会館 3階日赤研修室
内 容 奉仕団主催講習会の打ち合わせ
防災講座の内容について(避難所生活の知恵)
出 席 者 6人

②県北地区

期 日 11月3日
会 場 能代ふれあいプラザ サンピノ
内 容 奉仕団主催講習会の反省・BLSの実技確認
出 席 者 5人

③県南地区

期 日 11月19日
会 場 横手市交流センターY2プラザ
内 容 奉仕団主催講習会の反省・確認
出 席 者 7人

オ. 赤十字キッズタウン2017

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日 5月28日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容 支部（災害救護・講習）仕事体験コーナー・災害救護車両展示コーナー等の案内
参 加 者 8人

カ. 赤十字まめだす体験広場

秋田県で開催された全国健康福祉祭「ねんりんピック秋田 2017」の協賛イベントに運営スタッフとして団員を派遣した。

期 日 9月9日～11日
会 場 秋田市 にぎわい交流館AU
内 容 救急法短期講習会
参 加 者 7人

キ. 支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」

期 日 11月7日
場 所 秋田県民会館

参 加 者 13名

そ の 他 大会式典・講演会の司会を伊藤三恵指導員が務めた。また、付随開催された名誉副総裁ご歓迎昼食会の司会を佐藤美子指導員が務めた。

ク．防災ボランティア研修会への参加

奉仕団員としての資質向上と防災ボランティアの強化、各奉仕団間の連携を目的に日赤支部が開催した研修会に参加した。

期 日 1月20日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

参 加 者 3人

スタッフ 6人

ケ．役員会の実施

期 日 3月10日

会 場 秋田県社会福祉会館 3階日赤研修室

出 席 者 8人

6) 災害救護奉仕団

防災ボランティアによって組織している災害救護奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア．赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月12日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 委員長 八代 千春

イ．団員による防災ボランティア活動体験等の講話

要請に応じ次のとおり実施した

期 日	行事の名称	対 象	内 容	実施団員
4月22日	救急法・水上安全法指導員研修会	指導員77人	熊本地震災害における活動	高橋邦明
			東ティモール赤十字社救急法普及支援活動	竹内健司
6月2日	秋田県特別支援学校PTA連合会教育講演会	PTA関係者100人	東日本大震災における活動	八代千春
7月28日	青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンター	中・高生、教員等	東ティモール赤十字社救急法普及支援活動	竹内健司
12月6日	稲川支援学校	職員、生徒、保護者43人	東日本大震災における活動	八代千春

ウ．「県民防災の日」訓練への参加

期 日 5月26日
 会 場 秋田県庁第2庁舎
 参 加 者 竹内 健司

エ．雄物川水防演習への参加

期 日 5月28日
 会 場 秋田市雄物川河川敷
 参 加 者 2人
 内 容 地域奉仕団による炊出し訓練における補助

オ．赤十字キッズタウン2017

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日 5月28日
 会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
 参 加 者 3人

カ．防災教育事業指導者養成研修会への参加

期 日 6月2日～4日
 会 場 日本赤十字社
 参 加 者 高橋 邦明

キ. 第53回献血運動推進全国大会への参加

期 日 7月12日
会 場 秋田県立武道館
参 加 者 2人

ク. 7月22日発生秋田県大雨災害における防災ボランティア活動

- ・ 7月22日 災害発生時から各団員が情報収集を実施
八代委員長が日赤秋田県支部業務支援
- ・ 7月23日 団員3人が日赤秋田県支部業務支援
- ・ 7月29日 団主催による被災者支援活動として、大仙市峰吉川において被災者
宅の泥出し、後片付け等を実施
団員2人のほか防災ボランティア1人、支部職員1人が参加
- ・ 8月5日 竹内副委員長が大仙市峰吉川において泥出し、後片付け等の被災者
支援活動を実施
- ・ 8月27日 竹内副委員長が秋田市雄和において泥出し、後片付け等の被災者支
援活動を実施

ケ. 秋田県総合防災訓練への参加

期 日 9月3日
会 場 大館市
参 加 者 2人
内 容 地域奉仕団による炊出し訓練における補助

コ. 支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」

期 日 11月7日
会 場 秋田県民会館
参 加 者 2人

サ. 赤十字防災ボランティア・リーダー養成研修会への参加

期 日 11月18日～19日
会 場 日本赤十字社
参 加 者 高橋 邦明

シ. 赤十字防災ボランティア研修会への参加

団員の防災ボランティア・リーダー4人が運営スタッフとして参加した。

期 日 1月20日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 4人

内 容 竹内副委員長が「災害時のデマ」の指導にあたった。

ス. その他

- ・年間を通じ、災害の発生が懸念される状況において情報収集を実施した。
- ・年間を通じ、市内巡回パトロール活動を実施した。
- ・定期的に定例会を実施した。

7) 青少年赤十字賛助奉仕団

元青少年赤十字の指導者によって組織している青少年赤十字賛助奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月13日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 委員長 眞井田 恭雄

イ. 賛助奉仕団総会

期 日 6月15日

会 場 協働大町ビル

協議事項 平成28年度事業計画他

ウ. 全国賛助奉仕団協議会総会

期 日 7月1日～2日

会 場 日赤本社

参 加 者 委員長 眞井田 恭雄

エ. 支部創立130周年記念「秋田県赤十字大会」

期 日 11月7日
会 場 秋田県民会館
参 加 者 5人

オ. 賛助奉仕団研修会

期 日 11月18日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 10人

カ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

期 日 11月9日～10日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 眞井田 恭雄

キ. その他

- ・年間を通じ、青少年赤十字未加盟校に対する加盟促進・啓発活動を実施した。
- ・JRCリーダーシップ・トレーニング・センターの指導者として指導にあたった。
- ・青少年赤十字指導者協議会との連携を強化した。

(4) 秋田県赤十字有功会

1) 設立年月日等

設立年月日	会 長	副 会 長	
昭和58年1月21日	三戸 俊彦	辻 良之	佐藤 安隆

2) 会員数

個 人	法 人	計
186人	59社	245

3) 主な活動

ア. 平成29年度役員会 6月1日 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」8人出席
3月27日 「日赤秋田県支部研修室」7人出席

イ. 平成29年度総会 6月2日 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」35人出席
(懇親会30人出席)

ウ. 公開講演会 6月1日 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」51人参加
(一般参加含)

演題 「世界遺産の山と旅 鳥海山を考える」

講師 本荘山の会 会長 荘司昭夫 氏

エ. 全国赤十字大会参会 5月25日 東京都「明治神宮会館」

参会者 佐藤 安隆 (由利本荘市)

オ. 秋田県支部活動助成

カ. 青少年赤十字活動の推進

青少年赤十字トレーニングセンター参加者へ参加記念写真寄贈

キ. 日赤紺綬・有功会会長協議会総会

期 日 10月19日～20日

会 場 香川県高松市「J Rホテルクレメント高松」

出席者 会長 三戸俊彦

ク. 新会員勧誘

平成28年12月～29年12月までの有功章受章者個人法人へ入会案内を送付

入会 個人 15人 法人 10社

ケ. 会報「有功秋田」の発行 第66号8月発行

コ. 会員の慶弔 弔電1件

サ. 記念事業資金積立

シ. 創立35周年記念事業

日赤名誉副総裁御歓迎昼食会を秋田県支部と共催で開催

11月7日 秋田市「秋田キャッスルホテル」 57人参加

9. 青少年赤十字（J R C）

1. 組 織

秋田県青少年赤十字指導者協議会

（加盟校で構成）

職 名	氏 名	勤 務 校 名	電話番号
会 長	佐 藤 利 正	秋田南高等学校	018-833-7431
副 会 長	小笠原 茂 人	大館東中学校	0186-42-2835
同	越中谷 俊 悦	高清水小学校	018-845-0831
同	栗 林 守	大曲中学校	0187-63-2222

秋田県青少年赤十字賛助奉仕団

（元青少年赤十字の指導者等で構成）

秋田県青少年赤十字指導者協議会理事会

（地区会長等で構成）

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会

（地区加盟校で構成）

地 区 名	会 長 名	勤務校名	電話番号
鹿角・大館・北秋	小笠原 茂 人	大館東中学校	0186 - 42 - 2835
能 代 ・ 山 本	近 藤 正 実	湊城西小学校	0185 - 52 - 2237
男鹿・潟上・南秋	今 田 喜 代	弘戸小学校	0185 - 46 - 2510
秋 田 市	越中谷 俊 悦	高清水小学校	018 - 845 - 0831
由利本荘・にかほ	打 矢 之	小友小学校	0184 - 22 - 4017
大 仙 ・ 仙 北	栗 林 守	大曲中学校	0187 - 63 - 2222
横 手 市	吉 田 聡	醍醐小学校	0182 - 25 - 4204
湯 沢 ・ 雄 勝	鈴 木 慎 二	湯沢東小学校	0183 - 72 - 5125

秋田県青少年赤十字指導者協議会幹事会

（指導者協議会の幹事で構成）

2. 登 録 状 況

（平成30年3月31日現在）

区 分	学 校 数	メ ン バ ー 数（人）
幼 稚 園 ・ 保 育 園	4 4 園	3, 5 6 3
小 学 校	1 1 2 校	2 2, 6 9 8
中 学 校	5 2 校	1 0, 0 7 7
高 等 学 校	2 6 校	1, 2 5 8
計	2 3 4 校(園)	3 7, 5 9 6

3. 青少年赤十字加盟校（園）一覧

（平成30年 3月31日現在）

校種 地区	幼稚園・保育園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	計
鹿 角 大 館 北秋田		・城南・有浦・釈迦内 ・川口・上川沿・花岡・南 ・扇田・早口・鷹巣南 ・米内沢・合川	・成章・東	・十和田 ・秋田北鷹	16校
		12校 2,381名	2校 456名	2校 46名	2,883名
能 代 山 本		・淳城西・淳城南・第四 ・第五・向能代・朴瀬 ・竹生・崇徳・鶴形・浅内 ・常盤・二ツ井・琴丘 ・下岩川・森岳・金岡 ・浜口・湖北・八森・峰浜 ・藤里	・能代第一・能代第二 ・能代東・東雲・能代南 ・常盤・二ツ井 ・琴丘・山本・八竜 ・八峰・藤里	・能代松陽 ・能代工業 ・能代西	36校
		21校 2,983名	12校 1,796名	3校 52名	4,831名
男 鹿 南秋田	・若美幼 ・追分幼 ・昭和東保 ・昭和西保	・脇本第一・船越・弘戸 ・美里・飯田川・天王 ・追分・五城目・八郎潟 ・大潟	・男鹿南・男鹿北 ・男鹿東・潟西 ・八郎潟	・秋田西	20校・園
	4園 133名	10校 2,217名	5校 638名	1校 26名	3,014名
秋 田	・飯島幼・日新保 ・こまどり幼 ・第一ルンビニ保 ・勝平保 ・あきた中央保 ・サン・パティオ ・おおまち保	・高清水・日新・外旭川 ・下新城・東・桜 ・岩見三内・戸島	・秋田南 ・山王 ・岩見三内	・秋田・秋田北 ・聖霊・秋田和洋女子 ・秋田工業・金足農業 ・視覚支援学校 ・秋田きらり支援学校 ・秋田クラーク高等学院	27校・園
	7園 743名	8校 3,367名	3校 960名	9校 321名	5,391名
本 荘 由 利	・本荘保	・小友・石沢・由利・西目	・矢島・西目・東由利		8校・園
	1園 155名	4校 714名	3校 336名		1,205名
大 仙 仙 北	・なかせんワイワイらんど ・せんぼくちびっくらんど ・おおたわんぱくランド ・すくすくだけっこ幼 ・西仙おおぞらこども園 ・大曲南幼・大曲駅前こども園 ・六郷わくわく幼 ・仙南すこやか幼 ・千畑なかいし幼 ・はなだて保・大曲東保 ・大曲南保・大曲北保 ・大曲中央保・大曲乳児保 ・四ツ屋保・大川西根保 ・角間川保・藤木保・内小友保 ・高畑保・みつば保・土川保 ・中仙東保・角館西保	・大曲・東大曲・花館 ・内小友・大川西根・藤木 ・四ツ屋・角間川・神岡 ・西仙北・清水・豊川 ・豊岡・中仙・協和 ・太田東・太田南・太田北 ・南外・高梨・横堀・角館 ・中川・白岩・生保内 ・神代・西明寺・松木内 ・六郷・千畑・仙南	・大曲・大曲西・大曲南 ・平和・西仙北・中仙 ・豊成・協和・太田 ・南外・仙北 ・角館・生保内・神代 ・西明寺・松木内 ・美郷	・大曲農業 ・大曲農太田分校 ・大曲工業 ・角館 ・秋田修英 ・大曲支援学校	80校・園
	26園 2,143名	31校 5,386名	17校 2,916名	6校 198名	10,643名
横 手	・こひつじ ・上宮第一幼 ・上宮第二幼 ・土屋幼 ・醍醐保 ・むつみ乳児保	・横手南・朝倉・旭・栄 ・横手北・増田・浅舞 ・吉田・醍醐・雄物川 ・大森・十文字第一 ・十文字第二・植田・睦合 ・山内・大雄	・横手北・横手南・増田 ・横手清陵学院・平鹿 ・横手明峰	・横手・横手城南 ・雄物川 ・横手支援学校	33校・園
	6園 389名	17校 4,034名	6校 1,932名	4校 580名	6,935人
湯 沢 雄 勝		・湯沢東・湯沢西・山田 ・川連・雄勝・皆瀬 ・西馬音内・羽後明成 ・高瀬	・湯沢北・湯沢南・雄勝 ・羽後	・湯沢翔北	14校
		9校 1,616名	4校 1,043名	1校 35名	2,694名
計	44園 3,563名	112校 22,698名	52校 10,077名	26校 1,258名	234校・園 37,596名

4. 会議・研修会等

(1) 指導者協議会理事会（第1回）

期 日 5月9日
会 場 秋田県社会福祉会館
出席者 会長・理事（県内各地区代表）

(2) 指導者研修会

期 日 5月23日
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 県内青少年赤十字指導者16人

(3) リーダーシップ・トレーニング・センター

期 日 7月29日～7月30日
会 場 秋田県青少年交流センター
参加者 20人（中学生10人・高校生10人）

(4) リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会

期 日 7月23日～25日
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
参加者 太田 三千代（男鹿市立払戸小学校教諭）

(5) 全国指導者協議会総会

期 日 6月29日～6月30日
会 場 日赤本社
出席者 指導者協議会副会長 小笠原 茂人（大館市立東中学校校長）

(6) 一日リーダーシップ・トレーニング・センター

期 日 9月23日
会 場 秋田県青少年交流センター
参加者 小学生10人

(7) 指導者中央講習会

期 日 11月25日～26日
会 場 日赤本社
参加者 藤原 十四子（羽後町立羽後中学校教諭）

(8) 指導者協議会理事会（第2回）

期 日 11月28日
会 場 秋田県社会福祉会館

出席者 会長・理事

(9) 青少年赤十字研究会（指導主事対象）

期 日 平成30年 1 月10日～11日

会 場 日赤本社

出席者 中央教育事務所指導主事 沼倉 友和

(10) 第1ブロック指導者研究会

期 日 平成30年 2 月 2 日～ 2 月 3 日

会 場 札幌市

参加者 鎌田 功（湯沢市立湯沢東小学校教頭）

鎌田 洋子（県立秋田西高等学校教諭）

5. 青少年赤十字研究推進校

学 校 名	羽後町立羽後中学校	男鹿市立払戸小学校
委嘱年度	平成28～29年度	平成29～30年度
研 究 テ ー マ	・ J R C 活動を通し、希望と感謝の心をもって学び続けるしなやかな生徒の育成～自ら気づき・考え行動できる生徒～	・ 青少年赤十字活動を通して、『気づき考え、実行する』子どもの育成

6. 高校青少年赤十字協議会

(1) 高校協議会総会

期 日 6 月18日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 加盟各高校代表者37人

(2) 高校協議会研修会（健康安全プログラム）

期 日 ①12月 3 日 ②11月 3 日

会 場 ①秋田県社会福祉会館 ②能代ふれあいプラザ

参加者 ①高校生 4 人 ②高校生 4 人

(3) 高校協議会研修会（幼児安全法講習会）

期 日 10月15日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 高校生 4 人

(4) 海外たすけあい全県一斉街頭募金

期 日 12月 9 日

会 場 秋田駅ぽぽろード

参加者 秋田地区高校 J R C 35人

(5) 高校協議会体験研修（赤十字乳児院ふれあい体験）

期 日 3月24日・25日

参加者 高校生10人

(6) 青少年赤十字スタディー・センター

期 日 3月22日～26日

会 場 山梨県山中湖村

参加者 県立秋田西高等学校2年 伊藤 一愛

県立秋田北高等学校2年 鈴木 日和理

7. 機関誌の発行

「青少年赤十字秋田第36号」を発行

10. 社 旨 普 及

1. 印刷物の配布状況

社旨普及のため配布した印刷物は次のとおり

名 称	配布数（部）	配 布 先
赤 十 字 N E W S	28,400	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校 他
毎 戸 チ ラ シ	400,000	全世帯
会 員 募 集 の 手 引	15,000	各地区・分区の奉仕者
パンフレット（要覧）	35,100	各地区・分区の奉仕者
支部機関紙「赤十字秋田」	132,000	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校、献血者 他

2. 報道機関等を通じての広報

5月の赤十字運動月間を中心に、報道機関を通じて次の広報活動を行った。

- ・広告の掲載13社の協力を得て「秋田魁新報」へ広告を掲載〔5／1朝刊〕
- ・テレビスポットの放映

局 名	広 報 内 容
秋 田 テ レ ビ (株)	5～7月に本社作成の運動月間用スポット及び支部で作成した広報用 スポットを使用
(株) 秋 田 放 送	
秋 田 朝 日 放 送 (株)	

- ・ラジオ（有線放送）の放送

局 名	広 報 内 容
(株) 秋 田 放 送	5月の赤十字運動月間中に本社作成の運動月間周知並びに会員増強 をテーマとしたラジオスポットを使用
(株) エ フ エ ム 秋 田	
秋田コミュニティー放送(株)	
井川町〔有線〕	
潟上市地区〔有線〕	

3. イベントの実施

赤十字運動月間を中心に支部と施設がタイアップし次のイベントを実施した。

- 行事名 赤十字キッズタウン2017 ～赤十字のお仕事を体験しよう！～
- 期 日 5月28日
- 会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
- 内 容
- ・子どもの赤十字のお仕事体験コーナー
 - ・赤十字PRコーナー
 - ・炊き出し体験コーナー
 - ・救急法・幼児安全法コーナー
 - ・災害救援車両等展示コーナー
 - ・ドクターヘリ見学

4. インターネットの活用

インターネットを活用し、ホームページ上で赤十字活動の周知に努めた。

ホームページアドレス等については次のとおり

ホームページアドレス	http://www.akita.jrc.or.jp
代表メールアドレス	info@akita.jrc.or.jp
ホームページの内容	・行事紹介 ・事業紹介 ・赤十字講習の受付 ・赤十字の歴史 ・赤十字マークについて ・義援金（受付状況） 等

11. 医 療 事 業

(秋田赤十字病院)

1 概 要

平成29年度は、「秋田県の中核病院として、高度で安全な医療の提供に努め、また、赤十字の使命である災害医療救護に取り組んで、地域の信頼を得る」を指針とし、施策に、1) 質の高い医療の提供、2) 災害医療救護体制の充実、3) 病院経営の健全化、4) 地域医療構想に基づく方向性の検討、を掲げた。

1) 質の高い医療の提供は、病院職員が一丸となって励んだ結果、処置や治療に必然的に伴う合併症はあったものの、水準を上回るものだったと考えている。秋田県から委託されている救急、周産期、神経病の医療にとどまらず、他のすべての分野において安心で安全な質の高い医療が提供された。なお、ドクターヘリ事業は、本年度の要請件数が399件であり、前年度より21件減少した。出動件数も、天候不良等のため、258件と前年度より9件減少した。基地病院である当院への搬送は96件（前年度比2件減）であった。

2) 災害医療救護として、前年度の熊本地震救護活動で明らかになった反省点や問題点を考慮しながら訓練を重ねた。また、国際救援活動として、当院で初めて事務部の女性主事をバングラデシュ人民共和国に派遣し、難民の救援を行った。

3) 病院経営健全化のため、診療稼働を上げる努力と費用削減の努力を強く職員に求めた。増収のため先ずは病床利用率を上げるべく、電子カルテ上に当日朝と昼の空床数を表示した。また、診療科毎の増収策を提出してもらい、直ちにできるものから実行してもらった。そして、患者をより多く紹介してもらえよう他医療機関との連携を地道に進めた。経費削減のため、診療材料を適正な価格で購入するシステムを導入し、また、医療廃棄物抑制委員会を立ち上げるなどして取り組んだ。病院の人材確保と勤務環境改善を目的にして前年度に院内保育所を開園したが、事故なく、園児数も着実に増加した。

4) 病院の方向性としては、地域医療構想の中の高度急性期・急性期医療を目指すことを確認した。この目的のために、7階 A 病棟にハイケアユニットを設置し、4月から運用を開始して多くの重症患者の診療にあたった。また、地域がん診療連携拠点病院として、年間1,200例に及ぶ新規のがんの発見と治療にあたった。

2 医療活動

医師数は100名を超えるが、診療科による偏在があり、県内外から多くの医師の応援を得て医療活動がなされた。一方、医師が充足している診療科においては、県内の医療機関から要請があれば可及的に応えるようにしており、平成29年度は23箇所の医療機関に医師を応援派遣した。

許可病床数は480床で、一般医療が344床、秋田県の委託を受けて運営している政策医療が136床（救命救急医療50床、周産期医療56床、神経病医療30床）である。標榜科は30科（院内呼称を加えると34科）であり、病院附属の健診施設として、秋田市中通地区にあきた健康管理センターを有している。

本年度の入院患者数は、延べ数141,537人と、前年度に比べ1,219人増加した。新入院患者数も10,500人と、178人増加した。一日平均入院患者数も前年度の384.4人から387.8人に増加した。病床利用率は、一般病床が92.0%だったものの、特定入院料病床の利用率が落ち込み、結果として前年度の89.6%から本年度87.1%となった。平均在院日数は12.5日と0.1日短縮した。外来患者数は、延べ184,874人（前年度187,992人）、一日平均757.7人（前年度776.8人）と共に減少した。患者の地域別割合では、秋田市が外来、入院とも約4分の3であり、その他の地域の受診割合も前年度と比べて大きな変化はなかった。

救急患者数は、15,693人と前年度比96人の減、救急車による搬送数は2,870件で、前年度より108件の減少であった。救急からの入院は3,390人と前年度より54人増加した。

分娩数は890件（前年度比4件増）であり、母体搬送数は78件、新生児搬送は13件であった。秋田県の出生数が減少する中、総合周産期母子医療センターとして確固たる実績を挙げている。

手術室で行われた手術件数は、前年度比55件減の3,531件であり、全身麻酔手術数は53件減の3,531件であった。

人間ドックなど予防医学活動は本年度も活発に行われ、本院では11,682人、附属あきた健康管理センターでは11,332人、併せて23,014人（前年度比342人増）の健診を行って県民の健康保持に貢献した。

診療稼動額は122億53万円（前年度比2億5,028万円の増）となり、病院総稼動額も129億6,357万円（前年度比2億5,512万円の増）になった。診療単価は、入院61,632円（1,209円の増）、外来18,809円（341円の増）であった。7階 HCU の稼働や職員の意識改革による増加が大きかったと分析している。総体的に見て、平成29年度は入院患者が増加し、外来患者が減少したが、診療稼動額としては増加した。一方、支出は抑制の傾向が出てはきたが未だ増加しており、結果として医業収支、病院収支とも赤字であった。平成30年度4月の診療報酬改定は当院に良い方に働くと推測されるため、次年度は少なくとも病院収支を黒字化しなければならない。

3. 平成29年度実績

(1) 科別患者延数

(単位：人)

	総合診療	腎臓内科	代謝内科	血液内科	神経内科	呼吸器内科
入院	718	3,753	1,931	8,506	9,546	15,176
外来	3,243	14,374	8,870	4,173	9,230	9,835

	肝胆膵	消化管	腫瘍内科	消化器外科	循環器内科	精神科
入院	6,971	8,284	1,862	14,244	6,676	0
外来	6,858	13,661	1,769	8,908	7,507	8,224

	小児科	新生児科	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外科	整形外科
入院	2,557	6,446	2,471	2,300	0	17,383
外来	6,812	436	7,833	1,508	611	13,355

	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科
入院	2,243	4,768	1,638	4,727	10,443	3,757
外来	4,734	2,855	6,965	11,573	8,376	8,029

	婦人腫瘍科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	救急科	合計
入院	0	293	3,218	0	1,626	141,537
外来	0	3,347	10,916	670	202	184,874

(2) 救命救急センター患者取扱状況

(単位：人)

	救急患者	来院方法			来院時間		
		救急車	へり	その他	時間内	時間外	深夜(再掲)
交通事故	443	206	18	219	150	293	33
急病	12,602	2,123	55	10,424	2,681	9,921	1,913
その他	2,648	541	24	2,083	725	1,923	243
計	15,693	2,870	97	12,726	3,556	12,137	2,189

	患者の状況					
	帰宅	一般外来	入院	転送	死亡	
交通事故	366	3	69	1	4	
急病	9,603	112	2,801	28	58	
その他	2,092	11	520	17	8	
計	12,061	126	3,390	46	70	

(3) 分娩、手術関係

	件数	備考
分娩	890	
出生	905	
手術	3,531	手術室におけるもの
死亡	512	外来死亡70件含む
剖検	11	剖検率 2.5%

(4) 健診部の活動、その他

	外来ドック	入院ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	6,268	1,781	426	2,748	107	342	10

	特定保健指導	ストレスドック	フォローアップ健診	各種教室等	その他
件数	86	13	76	1	9

	乳児健診	予防接種	母親学級	栄養相談	救護
件数	1,015	806	808	1,916	11

(5) 地域別実患者数

全患者内訳

地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
秋田市	26,405	73.77%	5,690	71.55%	32,095
鹿角市・郡	45	0.13%	5	0.06%	50
大館・北秋	577	1.61%	143	1.80%	720
能代・山本	662	1.85%	140	1.76%	802
男鹿・南秋	2,221	6.20%	461	5.80%	2,682
由利・本荘	1,077	3.01%	251	3.16%	1,328
大曲・仙北	3,334	9.31%	701	8.81%	4,035
横手・平鹿	359	1.00%	104	1.31%	463
湯沢・雄勝	212	0.59%	64	0.80%	276
県外	903	2.52%	394	4.95%	1,297
総合計	35,795	100.00%	7,953	100.00%	43,748

秋田市内訳

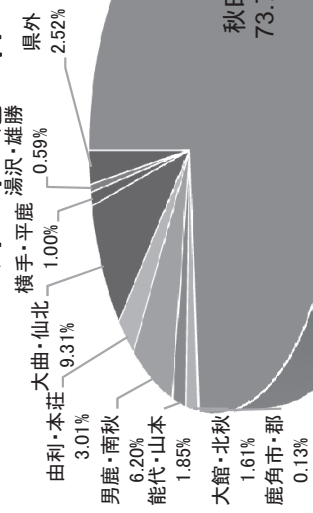
地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
中央地区	3,570	13.52%	777	13.66%	4,347
東部地区	6,373	24.14%	1,310	23.02%	7,683
西部地区	2,205	8.35%	459	8.07%	2,664
南部地区	8,709	32.98%	1,827	32.11%	10,536
北部地区	2,066	7.82%	426	7.49%	2,492
河辺・雄和	3,482	13.19%	891	15.66%	4,373
秋田市合計	26,405	100.00%	5,690	100.00%	32,095

(6) 附属あきた健康管理センターの活動

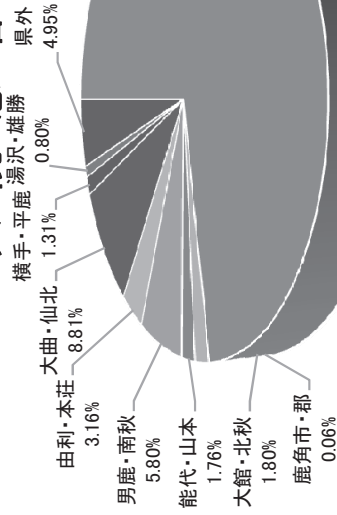
	外来ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	2,180	1,602	7,061	339	150	0

全患者内訳

外来患者

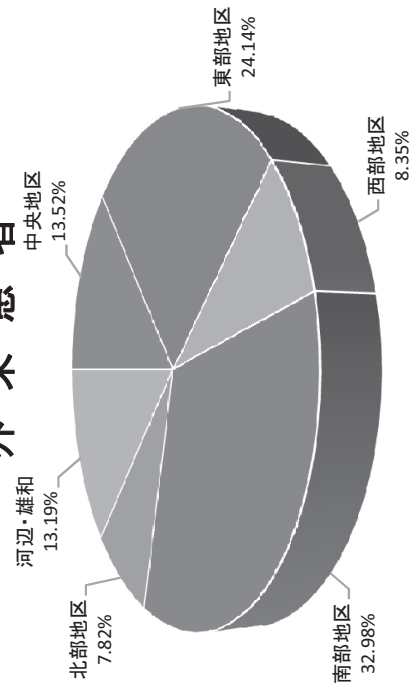


入院患者

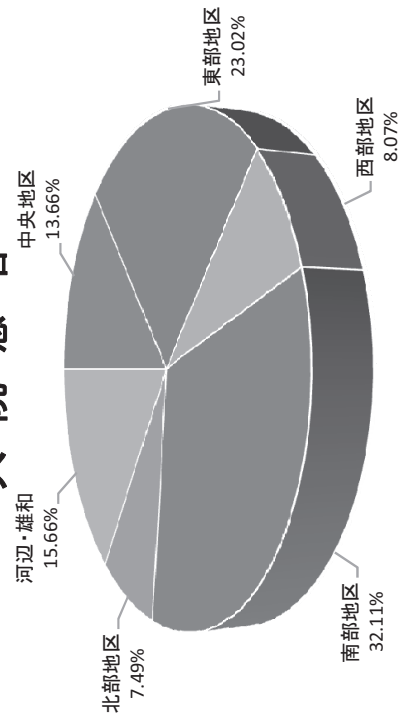


秋田市内訳

外来患者



入院患者



12. 血 液 事 業

(秋田県赤十字血液センター)

1. 概 要

輸血を必要とする患者さんの多くは50歳以上で、それを支える献血者の世代は20代から30代の若い人となっており、秋田県はこの世代の人口に占める献血者の割合が、長年において全国一位となっている。しかしながら、少子高齢化・過疎化など年々献血推進を取り巻く社会的環境は厳しい状況となっており、県内の医療機関が必要とする輸血用血液を本県の献血者で賄うのは容易なことではない。

東北ブロック管内血液センターにおいては、このような問題を抱える県が複数あることから、献血者確保対策として平成28年度から各県の採血計画を自給自足的な考えから生産年齢人口の割合に基づき採血本数を案分した目標とすることで、安全な血液の安定した血液供給を確立するための大きな改革とした。

平成29年度の県内血液製剤供給見込数は、総数で155,192単位であり、これに対する献血目標数（案分）は37,787人である。これを自給自足にした場合は約40,000人となることから、新たな献血目標策定により約2,200人少ない目標数に緩和されたことになる。このように現況に見合った献血目標となり、本県の献血推進においては、幾分条件が良くなったように思えるが、一方で平成21年8月に秋田市内にあるイオンモール秋田に全血献血を主体として開所した御所野出張所（献血ステーション）が平成29年3月をもって閉所となり、平成29年度においては全血確保の抜本的な確保対策が肝要となった。この対策として、献血に参加しやすい休日の街頭献血を定点献血とし地域のスーパーやショッピングセンターにおいて定期的に実施することで、各市町村における献血参加を広めていくこととした。また、各地域の献血運動推進においては、地域住民の力が必須であることから、献血推進協力団体であるライオンズクラブや婦人会、赤十字奉仕団、学生らのご協力を得ている。

このような対策の中で平成29年度の献血実績は、総数で34,194人となり献血目標に3,593人足りない結果となった。要因としては、これまで街頭献血や大学等のまとまった献血者数を得ていた献血会場の実績が思うように振るわなかったことが上げられる。なお、医療機関への供給は、東北ブロック管内の血液製剤在庫調整により安定的に届けられている。

平成29年7月12日には、本県において日本赤十字社名誉副総裁皇太子殿下 同妃殿下をお迎えし、全国から多くの関係者にご参加いただいて、「第53回献血運動推進全国大会」が県立武道館において開催することができたことや、日本赤十字秋田看護大学・同短期大学において執り行われた献血行啓をとおり、秋田県の若者たちが、日頃の献血運動推進に熱心な活動をしている姿を御視察して頂いたことは、誠に大きな喜びに堪えないところである。本大会を契機として、これからを担う若者をはじめ、多くの皆様からのご協力を得るため献血の普及啓発に力を入れて各関係団体の力を賜りながら、更なる県民の献血への輪が広がるよう献血推進に取り組んでいく考えである。

2. 第53回献血運動推進全国大会

期 日 7月12日
会 場 秋田県立武道館
参 会 者 約1,400人
大会概要 第1部 式典

名誉副総裁皇太子殿下 同妃殿下ご臨場

開会のことば

国家斉唱

主催者挨拶 厚生労働大臣 塩崎 恭久（代）

日本赤十字社社長 近衛 忠輝

秋田県知事 佐竹 敬久

歓迎のことば 秋田県議会議長 鶴田 有司

秋田市市長 穂積 志

功劳者表彰

名誉副総裁おことば 皇太子殿下

血液事業用車両寄贈目録贈呈

体験発表 加藤 靖幸

献血のうた

誓いのことば 新山 広

名誉副総裁皇太子殿下 同妃殿下ご退場

第2部 アトラクション

3. 献血行啓

期 日 7月12日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・同短期大学
内 容 献血の普及啓発を目的に、秋田県学生献血推進協議会のメンバー18人が竿灯用の提灯などを作成する様子を、名誉副総裁皇太子殿下がご視察された。

4. 平成29年度実績

(1) 平成29年度 献血方法別目標及び実績

(単位：人)

区 分	目 標	実 績	過 不 足	達 成 率
200 mL 献 血	1,372	669	△ 703	48.8%
400 mL 献 血	26,074	23,064	△ 3,010	88.5%
成 分 献 血	10,456	10,461	5	100.0%
合 計	37,902	34,194	△ 3,708	90.2%
献 血 量 (L)	15,055.0	12,170.1	△ 2,884.9	80.8%

(2) 平成29年度 献血方法別実績前年度比較

(単位：人)

区 分	平成29年度実績	平成28年度実績	増 減	前 年 比
200 mL 献 血	669	1,263	△ 594	53.0%
400 mL 献 血	23,064	28,414	△ 5,350	81.2%
成 分 献 血	10,461	11,553	△ 1,092	90.5%
合 計	34,194	41,230	△ 7,036	82.9%
献 血 量 (L)	12,170.1	14,737.4	△2,567.3	82.6%

(3) 月別・性別献血状況、献血できなかった人数の内訳

(単位：人)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
申込者数	総数		3,259	3,586	3,449	3,535	3,636	3,465	3,192	3,281	3,525	2,891	2,643	3,124	39,586	100.0%
	男		2,312	2,461	2,370	2,389	2,458	2,243	2,093	2,323	2,423	2,077	1,861	2,216	27,226	68.8%
	女		947	1,125	1,079	1,146	1,178	1,222	1,099	958	1,102	814	782	908	12,360	31.2%
献血者数	総数		2,790	3,033	2,973	3,023	3,080	3,025	2,758	2,913	3,080	2,519	2,298	2,702	34,194	86.4%
	男		2,154	2,276	2,214	2,229	2,270	2,131	1,983	2,208	2,275	1,963	1,757	2,077	25,537	64.5%
	女		636	757	759	794	810	894	775	705	805	556	541	625	8,657	21.9%
献血できなかった人数	総数		469	553	476	512	556	440	434	368	445	372	345	422	5,392	13.6%
	男		158	185	156	160	188	112	110	115	148	114	104	139	1,689	4.3%
	女		311	368	320	352	368	328	324	253	297	258	241	283	3,703	9.4%
内訳	総数		263	334	309	339	346	258	254	217	239	227	228	255	3,269	60.6%
	男		53	65	68	78	86	40	26	28	46	38	44	65	637	11.8%
	女		210	269	241	261	260	218	228	189	193	189	184	190	2,632	48.8%
その他	総数		206	219	167	173	210	182	180	151	206	145	117	167	2,123	39.4%
	男		105	120	88	82	102	72	84	87	102	76	60	74	1,052	19.5%
	女		101	99	79	91	108	110	96	64	104	69	57	93	1,071	19.9%

(注) 申込者数は献血者数・献血できなかった人数の合計である。
 献血者数・献血できなかった人数の割合は、申込者総数に対する比率である。また、男女の割合は、申込者総数に対する比率である。
 内訳の割合は献血できなかった人数の総数に対する比率である。

(4) 保健所別献血者状況

(単位：人)

項目 保健所	合 計			全 血 献 血							成 分 献 血				献 血 量 (L)		
	目 標 数	申込者数	献血者数	目 標 率 達 成 率	目 標 数	申込者数	献 血 者 数			目 標 率 達 成 率	目 標 数	申込者数	献血者数	目 標 率 達 成 率	目 標 数	献 血 量	目 標 率 達 成 率
							200mL 献 血	400mL 献 血	計								
大 館 保 健 所	3,240	3,626	2,981	92.0%	3,240	3,626	121	2,860	2,981	92.0%	0	0	0	—	1,256.0	1,168.2	93.0%
北 秋 田 保 健 所	938	956	818	87.2%	938	956	28	790	818	87.2%	0	0	0	—	363.6	321.6	88.4%
能 代 保 健 所	1,961	1,965	1,656	84.4%	1,961	1,965	50	1,606	1,656	84.4%	0	0	0	—	760.2	652.4	85.8%
秋田中央保健所	1,322	1,287	1,065	80.6%	1,322	1,287	9	1,056	1,065	80.6%	0	0	0	—	512.4	424.2	82.8%
由利本荘保健所	2,004	2,056	1,686	84.1%	2,004	2,056	95	1,591	1,686	84.1%	0	0	0	—	776.8	655.4	84.4%
大 仙 保 健 所	2,814	2,907	2,425	86.2%	2,814	2,907	79	2,346	2,425	86.2%	0	0	0	—	1,090.8	954.2	87.5%
横 手 保 健 所	2,387	2,507	2,063	86.4%	2,387	2,507	119	1,944	2,063	86.4%	0	0	0	—	925.4	801.4	86.6%
湯 沢 保 健 所	1,663	1,867	1,587	95.4%	1,663	1,867	71	1,516	1,587	95.4%	0	0	0	—	644.6	620.6	96.3%
秋 田 市 保 健 所	21,573	34,090	19,913	92.3%	11,117	22,415	97	9,355	9,452	85.0%	10,456	11,675	10,461	100.0%	8,725	6,572.1	75.3%
合 計	37,902	51,261	34,194	90.2%	27,446	39,586	669	23,064	23,733	86.5%	10,456	11,675	10,461	100.0%	15,055	12,170.1	80.8%

※秋田市保健所には、献血パークるうぶ、アトリオン献血ルームを含む。

(5) 年齢別・性別献血状況

(単位：人)

性別 年齢	献 血 者 数			男 性			女 性		
	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計
16 ～ 19歳	622	1,103	158	1,883	5.5%	163	849	114	1,126
20 ～ 29歳	45	4,148	1,650	5,843	17.1%	1	3,112	991	4,104
30 ～ 39歳	1	4,685	2,276	6,962	20.4%	1	3,584	1,590	5,175
40 ～ 49歳	1	6,187	3,208	9,396	27.5%	0	4,845	2,417	7,262
50 ～ 59歳	0	5,148	2,192	7,340	21.5%	0	3,920	1,725	5,645
60 ～ 69歳	0	1,793	977	2,770	8.1%	0	1,328	897	2,225
計	669	23,064	10,461	34,194	100.0%	165	17,638	7,734	25,537

(6) 職業別・性別献血状況

(単位：人)

性別 職業	献 血 者 数			男 性			女 性		
	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計
公 務 員	0	4,414	1,677	6,091	17.8%	0	3,819	1,514	5,333
会 社 員	4	12,525	5,384	17,913	52.4%	0	10,137	4,247	14,384
高 校 生	547	319	34	900	2.6%	152	246	24	422
大 学 生	66	796	383	1,245	3.6%	1	555	227	783
そ の 他	52	5,010	2,983	8,045	23.5%	12	2,881	1,722	4,615
計	669	23,064	10,461	34,194	100.0%	165	17,638	7,734	25,537

(7) 年度別輸血用血液製剤供給状況

(単位：本)

年 度 製剤名	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
赤 血 球 製 剤	55,635	57,551	60,806	63,615
血 漿 製 剤	12,599	16,883	23,897	28,347.5
血 小 板 製 剤	91,880	110,769	100,615	108,505
合 計	160,114	185,203	185,318	200,467.5

(注)数値は200mL換算数である。

(8) 他都道府県血液センターとの需給調整状況

＜受入＞

(単位：本)

年 度 製剤名	平成29年度	平成28年度	増 減
赤 血 球 製 剤	1,074	1,443	△ 369
血 漿 製 剤	508	340	168
血 小 板 製 剤	470	970	△ 500
合 計	2,052	2,753	△ 701

(注)数値は200mL換算数である。

＜払出＞

(単位：本)

年 度 製剤名	平成29年度	平成28年度	増 減
赤 血 球 製 剤	1,599	1,312	287
血 漿 製 剤	783	914.0	△ 131
血 小 板 製 剤	2,540	1,355	1,185
合 計	4,922	3,581	1,341

(注)数値は200mL換算数である。

13. 乳児院の運営

(秋田赤十字乳児院)

1. 概要

様々な事情により家庭で育てることが出来ない、0歳からの乳幼児をお預かりし、24時間体制で養育をしている児童福祉施設である。夜間等の一時保護機能も有している。

主な入所理由は母の病気等によるものであるが、ここ数年増えているのが虐待を受けた子どもたちの入所であり、入所児の約3分の1以上を占めている。

すべての子どもたちは家庭的な環境のもと養育されることが心身の発達にとって重要であり、平成29年度は院内の小規模グループケアを充実させるため、部屋の横に専用の風呂・トイレを整備した。また、子どもや保護者への心理支援を充実させるため、常勤の心理療法担当職員を配置した。

昨年度当院から家庭復帰となった子どもは14名で、退所児童数の6割強となった。一方、家庭復帰できない子どもたちのため、里親制度の推進にも力を入れている。秋田県から受託している里親トレーニング事業（計10日間の実習）は6組の里親を対象に実施し、トレーニング終了後の里親へ子どもを委託することができた。

また、当院では4回目となる福祉サービス第三者評価を受審し、67項目中66項目でA評価となり前回よりも高評価であった。

さらに、地域に必要とされる施設を目指しており、子育て支援事業の充実や中学生・高校生等の体験学習、日赤看護学生・保育士・栄養士の実習生、ボランティアなどの受け入れも当院の特色と考え推進している。

特記事項として、平成29年11月7日、日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下が「秋田県赤十字大会」にご臨席のため来県された際、式典終了後に当院へもご訪問くださった。子どもたち一人ひとりに「何して遊んでるの?」、「お話ししましょう」など優しくお声をかけていただき、お帰りの際、「子どもたちの幸せのために頑張ってください」と職員にお話くださるなど終始お優しい秋篠宮妃殿下が印象的であった。

2. 利用状況

(平成30年3月31日現在)

(1) 入退所の状況

(単位：人)

入所人数		退所先及び退所人数				年度末 在所人数 (A+B-C)
前年度からの 入所数 (A)	新規入所数 (B)	家庭	里親	他施設	計 (C)	
24	20	14	4	4	22	22

(2) 新規入所理由の状況

(単位：人)

父母の疾病	虐待	未婚	出産	その他	計
7	5	5	1	2	20

(3) 市町別在所状況

(単位：人)

大館市	能代市	五城目町	秋田市	由利本荘市	仙北市	横手市	湯沢市	計
1	3	1	4	4	1	6	2	22

3. 過去5年間の利用状況

(単位：人)

内 訳 \ 年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
前年度からの入所	16	24	27	28	24
入 所	13	11	17	15	20
退 所	5	8	16	19	22
年 度 末 人 数	24	27	28	24	22

4. 子育て支援事業

事 業 名	利 用 状 況 等
電 話 相 談 8:30~23:00	153件 内容：基本的生活習慣・発育発達・医学的問題・生活の環境・育児の方法
デ イ ケ ア	97人
シ ョ ー ト ス テ イ	16人
プ レ マ マ サ ロ ン	30人
育児サークル「愛あいクラブ」	105人

5. 主な年間行事

行 事 名	期 日	場 所	対象児
お 花 見	4月25日	広面近隣公園	13人
こどもの日	5月5日	院 内	全 員
院 外 保 育	5月23日	大森山動物園	7人
七夕まつり	7月7日	院 内	全 員
院 外 保 育	8月25日	ザ・ブーン	18人
運 動 会	9月16日	院 内	全 員
お 月 見	10月4日	院 内	全 員
ハロウィン	10月30日	院 内	全 員
七 五 三	11月10日 11月20日	三 吉 神 社	5人
クリスマス会	12月25日	院 内	全 員
お 正 月	1月1日	院 内	全 員
節 分	2月2日	院 内	全 員
ひなまつり	3月1日	院 内	全 員

6. ボランティアの受入れ

種 別	受 入 れ 状 況
個 人	23人(延人数312人)
団 体	9団体(延人数263人)

7. 苦情件数

件 数
5件

8. 幼児安全法講習会の開催

単位：人

開催日	受講者数
4月1日	6
6月6日	4
7日	8
8日	1
9日	3
22日	2
24日	15
8月6日	2
7日	4
8日	4
9日	2
11月25日	13
2月22日	7
26日	4
27日	10
3月11日	4
13日	2
14日	2
19日	2

14. 日本赤十字社秋田県支部現勢

(平成30年 3 月31日現在)

1. 沿 革

明治20年（1887）11月 3 日…日本赤十字社
秋田県委員部設立
明治29年（1896） 7 月 1 日…日本赤十字社
秋田支部に改称
昭和27年（1952）10月31日…日本赤十字社
秋田県支部に改称

2. 会員数（含：協力会員） 個人 178,531人
法人 610社

3. 評議員 29人

4. 役 員

支 部 長 佐竹 敬久
副 支 部 長 堀井 啓一・穂積 志
本社理事・代議員 佐々木義広
本社代議員 野口 良孝・三戸 俊彦
江畑 佳明
支部監査委員 新谷 明弘・斉藤 永吉

5. 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	メンバー数
幼稚園・保育園	44 園	3,563人
小 学 校	112 校	22,698人
中 学 校	52 校	10,077人
高 等 学 校	26 校	1,258人
計	234校（園）	37,596人

6. 赤十字奉仕団

区 分	団 数	団員数
地 域	53団	23,719人
青年（学生）	5団	159人
特 殊	7団	344人
計	65団	24,222人

7. 秋田県赤十字有功会員 個人 186人
法人 59社

8. 講習普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
救 急 法	210回	8,828人	98人
健康生活支援	94回	4,955人	35人
水上安全法	20回	894人	33人
幼児安全法	65回	1,513人	20人
雪上安全法	1回	16人	1人
計	390回	16,206人	187人

9. 国際活動

- ・第一ブロック支部共同事業（資金援助）
救急法普及支援事業
（カンボジア・ミャンマー・東ティモール）
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン 他

10. 災害救護

災害対策本部要員	11人	
救護班要員	9班	66人
血液供給要員	3 人	
無線局（基地局含）	150MHz	31局
	400MHz	24局
救護車両	6 台	
備蓄救援物資	毛 布	3,250枚
	緊急セット	2,014個
	安眠セット	569個

11. 医療事業（秋田赤十字病院）

内 訳	総 病 床 数	480床
	一般医療	344床
	救命救急医療	50床
	周産期医療	56床
	神経病医療	30床
入 院		141,537人
	1 日平均	387.8人
外 来		184,874人
	1 日平均	757.7人

12. 血液事業（秋田県赤十字血液センター）

献血ルーム	2（血液センター、アトリオン献血ルーム）	
移動採血車	4台	
献血者数（延人数）		供給本数（200mL 献血由来換算）
200mL献血	669人	赤血球製剤 55,635本
400mL献血	23,064人	血漿製剤 12,599本
成分献血	10,461人	血小板製剤 91,880本
計	34,194人	計 160,114本

13. 社会福祉施設（秋田赤十字乳児院）

定 員	30人
年度末在所児童数	22人

14. 職員数（嘱託・臨時職員等は除く、平成30年4月1日現在）

日本赤十字社秋田県支部	8人
秋田赤十字病院	728人
秋田県赤十字血液センター	52人
秋田赤十字乳児院	19人
計	807人

15. 会計（平成30年度当初予算）

支 部	181,691千円	
病 院	収益の収入	14,236,871千円
	収益の支出	14,602,854千円
乳 児 院	歳 入	342,283千円
	歳 出	280,356千円

日本赤十字社秋田県支部

〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
TEL 018 (864) 2731(代) FAX 018 (864) 6852
URL <http://www.akita.jrc.or.jp>
E-mail info@akita.jrc.or.jp

秋田赤十字病院

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
TEL 018 (829) 5000 FAX 018 (829) 5255
URL <http://www.akita-med.jrc.or.jp>

附属あきた健康管理センター

〒010-0001 秋田市中通三丁目4番23号
TEL 018 (832) 1601 FAX 018 (832) 1603

秋田県赤十字血液センター

献血パークるうぷ

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233番186号
TEL 018 (865) 5541 FAX 018 (865) 5585
URL <https://www.bs.jrc.or.jp/th/akita>

アトリオン献血ルーム

〒010-0001 秋田市中通2丁目3番8号
(アトリオン1階)
TEL 018 (836) 7811 FAX 018 (836) 7812

秋田赤十字乳児院

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100番地3
TEL 018 (884) 1760 FAX 018 (884) 1762
URL <http://www.akita-nyuji.jrc.or.jp>
E-mail info@akita-nyuji.jrc.or.jp

<案 内 図>

